

請通り許可シテ弁理スヘク九江関ヲシテ責任アル監督ヲナサシメ米商人ガ該関ニ届出ノ場合ニハ其米カ何処ヘ往キテ交易サルヘキカヲ查明シ決シテ之ヲ外国ニ輸出セサルノ保証書ヲ入レシメ而シテ後始メテ納税転運ヲ許可シテ以テ查考ニ資シ流弊ヲ杜カン然ルニ米文ニハ反对者流尚誹議セン事ヲ恐ルトアルモ其実官吏ハ地方ノ計ノ為ニシテ惟此心民衆ニ負フナカラン事ヲ求ムヘク作ス所青天白日ノ如ケレハ仰イテ愧チス俯シテ惟ハス浮雲豈能ク掩蔽スル所トナラン

ヤ特ニ世風日ニ下リ機械変詐ノ徒百出ス常ニ慎重タラサル能ハザル耳称スル所ノ解禁ノ期日ハ即チ序ヨリ酌定呈報セシム更ニ該序此書ヲ督軍ニ呈シタルニ昨日督軍ノ来函ニ接セリ其文ヲ見ルニ已ニ請願通り指令シタルハ遵照セシメ尚南昌總商会ニ致シテ本令ヲ知照セシメヨ等ノ語アリ即チ発ス且ツ督軍ト会同シ九江関監督ニ訓令シ查照セシムルト共ニ併セテ玆ニ令ス該道尹即轉遵飭照ニ便セヨ云々

## 事項八 中国鉄道国際管理問題一件

六〇三 一月二十一日 在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛

中国鉄道国際管理提唱ニ関スル天津発行英字

新聞記事報告ノ件

公第一七号 (一月二十八日接受)

大正八年一月二十一日

在支那

特命全權公使 小幡西吉 (印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

本月十四日ノ「ノース、チャイナ、スター」北京通信ハ歐洲平和ノ克復ニ伴ヒ倫敦ニ於テハ支那実業開発ノ問題漸ク論議セラルルニ至リタル旨報道致居候処今二十一日ノ同通信ハ右十四日ノ通信ニ関連シ右ハ紐育ニ於テモ同様ニシテ殊ニ鉄道事業ニ関シ然ル旨ヲ叙シ其要点ハ從來ニ於ケル列国利権爭奪ノ弊ヲ罷メ所謂「ブーリング」ニ依リ一団ノ国際委員会ヲ組織シ全国ノ鉄道ヲ之カ投資管理ノ下ニ置カムコトヲ唱スルニ在リ右ハ未タ何等纏リタル話アル次第第二ハ

アラサルモ北京ニ於テモ既ニ諸方面ニ有力ナル支持者アル旨報シ居候尚委細ハ別紙切抜ニ就キ御査閱相成度御参考迄此段申進候也

註 別紙切抜省略ス

六〇四 二月一日 在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛 (電報)

中国鉄道国際管理問題ニ関スル在中国外人間

ノ趣向ニ付報告ノ件

第一五八号

(二月二日接受)

支那鉄道国際共同管理提唱ニ関スル「ノース、チャイナ、スター」ノ記事ニ付テハ一月二拾一日附公第一七号往信ヲ以テ報告シ置キタルガ是ヨリ先一月拾一日「ジュールナル、ド、ペカン」ハ社説ニ於テ支那鉄道国際共同管理ノ必要ヲ説キ京津「タイムズ」ハ一月二拾一日以後毎日又ハ隔日ニ連載シ居ル Reconstruction in China ニ関シ為セル其ノ社説(日頃感情ニ奔リ易キ同紙ニ似氣無ク大体真摯ナル書振ナリ委細郵報)中ニモ之ヲ論ジ又三拾日「ジュールナル、

ド、ペカン」モ亦再之ヲ主張スル等本問題ハ漸ク一般外国  
人ノ注意ヲ集メツツアルモノト認メラレ交通部米国人顧問  
「ペーカー」ノ如キ最熱心ニ之ヲ唱道シ居ル趣ナリシガ三  
拾日其ノ自宅ヘ晚餐ニ招カレタル徳川ノ報告ニ依レバ「ペ  
ーカー」ハ食後雑談中熱心ニ其主張ヲ述べ居合セタル米國  
商務官「アーノルド」英國商務官補「ローズ」中英公司支配  
人「メーヤース」等何レモ同感ヲ表シタルガ就中「メーヤ  
ース」ハ英國側ノ方針トシテ殊ニ自分トシテハ從來極力支那  
ニ於ケル勢力範圍ノ維持ヲ主張シ来リタルモ今日ニ於テハ  
時勢全ク変化シ各種企業ノ國際的共同ハ正ニ世界ノ大勢ナ  
ル以上所謂勢力範圍ナルモノハ云ハバ Natural Deathヲ遂  
ゲタルモノト云フベク列國ハ支那ニ於テモ宜シク此ノ世界  
ノ大勢ニ順応シ各々弱メテ其利己の行動ヲ自制シ支那ノ為  
ニ其利源ヲ共同開發スルノ決心ヲ為スヲ急務トスベシ之ガ  
為ニハ各國ハ勢ヒ諸種ノ犠牲ヲ払フコトヲ覚悟セザル可カ  
ラザルモ是等犠牲ハ右利源開發ニ依リ各國ガ享受スベキ永  
遠ノ利益(支那ノ開發ニ依リ日本ノ享クル利益ハ計リ知ル  
ベカラザルモノアルベシ)ヲ以テ償ヒテ余アルベシト述べ  
タル趣ニテ「ペーカー」ハ尚鐵道以外鉱山工業其他ノ(不

# スコトニ関シ意見照会ノ件

附屬書 右ニ関スル陸軍大臣意見

陸軍省送達西密第五六号

(二月十日接受)

西伯利亞及支那ニ在ル諸鐵道ヲ國際問題トナスコトニ関  
スル件照会

大正八年二月八日

陸軍大臣 田中義一(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

講和準備會議ニ於テ國際鐵道水路港灣問題ヲ討議スルニ至  
リシ結果西伯利亞及支那ニ在ル諸鐵道モ亦論議ノ渦中ニ入  
ルノ虞ナキニアラサルヲ以テ之ニ関シテハ別紙ノ通意見ヲ  
定メ關係ノ向ヘ夫々指示シ置クヲ有利ト被認候条御詮議相  
成様致度此段及照会候也

(欄外註記)

「列國ノ支那ニ於ケル鐵道計画ノ規模雄大ニシテ根底堅キ  
ニ顯ミ又支那開放及支那ノ分割の形勢ヲ緩和スルノ必要上  
ヨリスレハ支那ニ於ケル鐵道ヲ國際的共同管理タラシムル  
コトハ必スシモ日本ニトリ不利ニ非ズ但シ支那自身ヲシテ  
管理權ノ本体タラシムベシ」

(附屬書)

明)ニモ及ボサントノ説ヲ述べタルモ此点ハ「メーヤ  
ース」「ローズ」「アーノルド」何レモ即答シ兼ヌル旨ヲ答  
ヘタル由ナリシガ三十一日徳川ヲ来訪シタル英國一等書記  
官「ラムソン」モ余談中本件ニ言及シ右ハ殆ド当方面外国  
人間ノ通説トモ成リ居ル旨語リ徳川ガ一口口ニ勢力範圍撤  
廃ト称スルモ勢力範圍其モノノ意義必ズシモ十分明確ナ  
ラザル点モアリ之ガ実行ニ就テハ種々ノ困難ヲ伴フベシト  
述べタルニ對シ之ヲ首肯スルト同時ニ而モ此等困難ハ排除  
シ能ハズト云フコト無カルベシト述べタル趣ニテ貴電第六  
四号英國公使ノ意嚮問合ノ義ハ未タ適當ノ機会ヲ得ザリシ  
モ前記「ローズ」及「メーヤース」乃至「ラムソン」ノ言  
ニ鑑ミ英國側ニ於テモ勢力範圍撤廃ニハ異存ナキモノト推  
セラル鐵道國際管理ノ件ハ早晚具体的問題ト成リ来ルヤモ  
計リ難ク勢力範圍撤廃ニ関スル英國側ノ意嚮ニ關連シ御参  
考ニ相成ルベシト存ジ電報ス

委細郵報

六〇五

田中陸軍大臣ヨリ  
内田外務大臣宛

西比利亞及中国ニ在ル諸鐵道ヲ國際問題トナ

陸軍大臣意見

西伯利亞及支那ニ在ル鐵道ヲ國際問題トナスコト

ニ就テ

一、西伯利亞鐵道ハ列國出兵間ハ特別ノ状態トシテ最近日米  
間ニ於テ協定シタル管理法ニ依ルヘキモ露國ノ政情安定  
ニ歸シ列國撤兵シタル場合ニ於テハ本鐵道ハ何等國際的  
ノ議決ニ俟ツヘキ事態ヲ惹起セサルヘキヲ以テ此場合ノ  
コトハ別問題トシテ論議ヲ避クルヲ要ス

二、滿蒙及支那ニ在ル諸鐵道ニ至リテハ講和問題ト何等ノ  
關係ヲ有セサルノミナラス之カ為メ好シテ支那ヲ國際化  
セシメ列國共同監督ノ端ヲ開キ領土保全ノ主義ト相容レ  
サルヘク又世界平和ノ見地ヨリスルモ此ヲ講和會議ノ問  
題ト為スヘキ事態ヲ有セサルヲ以テ全然別問題トシテ論  
議ヲ避クルヲ要ス

六〇六

在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

中国鐵道國際管理問題ハ急速具體化シツツア  
ルニ付我政府ニ於テモ至急本問題ニ對スル態  
度ヲ決定スルノ要アルベキ旨稟申ノ件

## 第二一四号

(二月十三日接受)

往電第一五八号ニ関シ支那鉄道國際投資及管理問題其後果次報道ノ通当地方外字新聞ニ依リ唱道セラレツツアル一方尚外国人殊ニ英米人間ニ於テ愈々真面目ニ論議セラレ現ニ前記往電既報ノ交通部顧問「ベーカー」ハ最熱心ナル主張者ナル外最近「メーヤース」ハ徳川ニ対シ本件ニ関スル意見書ヲ内示スル等本件ハ我方ノ関スル限ニテモ漸ク具体化シツツアリテ要スルニ彼等主張ノ要点ハ支那全土ニ互ル一切ノ既存鉄道ヲ國際的ニ「アマルガメート」シ且将来ニ於ケル鉄道投資管理ヲ拳ケテ之ヲ國際的トシ以テ全國鐵道技術上ノ統一ヲ図ルト同時ニ鐵道利権獲得ニ関スル從來ノ競争妨害ヲ除去シ鐵道施設ノ促進利源ノ開發ヲ期セントスルニ存スル処二月十二日中山交通部顧問ノ來報ニ依レハ本問題ハ終ニ数日前外交委員會ノ議ニ附セラレ討議ノ結果同委員會ノ採択スル所トナリ約四日前陸徵祥ニ対シ本件ヲ講和會議ニ提議スヘキ旨電訓ヲ發シタル趣ナリ

然ルニ当日委員會ニ欠席セル曹交通總長其後此事ヲ知り吃驚一方ナラズ十日錢總理ニ會見ノ上激論ヲ戰ハシ事態ノ重大ナルニ鑑ミ遲滞ナク取消ノ電報ヲ陸徵祥ニ發センコトヲ

迫リタルモ終ニ總理ノ容ルル所トナラズ已ムヲ得ズ曹等一派ニ於テハ此上ハ事態ヲ南方ニ内通シテ其輿論ヲ喚起スル外ナシトシ採消シ運動ヲ講ズベク頻リニ焦慮中ナリトノコトニシテ更ニ確聞スル所ニ依レバ之ヨリ先、王景春ヲ中心トスル交通部内ニ於ケル所謂米國系ハ最近交通總長及次長ニ秘シテ協議ヲ開キ本問題實現方ニ対シ米國大統領ニ電報シテ其尽力ヲ求ムルコトトナリ既ニ其ノ手續ヲ実行セルヤノ趣ニシテ而モ当日ノ會議ニハ梁士詒モ出席セル由ニテ表面同人ハ其決議ニハ加ハラザリシ趣ナルモ梁ハ本問題ニ関シ緊密ナル「インテレスト」ヲ有シツツアルハ容易ニ之ヲ看取スルヲ得ベシ斯克ノ如ク今ヤ本問題ハ實際問題トシテ高速度ヲ以テ進捗シツツアルハ蔽フベカラザル事實ニ有之、而シテ支那側ニ於テ熱心ニ之ガ實現ヲ期シツツアルモノハ此機ヲ利用シテ滿洲及山東ニ於ケル鐵道ヲ主トシテ國內全鐵道ノ整理ヲ斷行セントスルモノナルベク一方外ニアリテハ米國側英國側其主動者タルハ疑フヘカラズ「ベーカー」ノ主張ノ如キモ其一端ニ過ギズ米國側ハ畢竟ニ之依リテ一方ニハ日本ヲシテ滿鉄ヲ擲棄セシメ他方仏國ヲシテ雲南鐵道公司特權ヲモ棄テシメ英國ノ勢力範圍ニモ喰入り國際投

## 第二二四号

往電第二一四号ニ関シ右報道ハ中山ガ単ニ交通部内ノ者ヨリ聞込ミタル儘ニテ更ニ確カナル筋ニ就キ之ヲ確ムルノ必要ヲ認メタルヲ以テ二月十三日本使自ラ陸宗輿ヲ訪問シ確メタル処陸ハ中山所報ノ次第ヲ全然事實ナリトシ外交委員會長汪大燮其他旧式人物ガ何等見識ナク輕輕シク国家重要ノ大事ヲ決シタルヲ非難シ本件決定ニ最責任アルハ林長民(同会幹事長)ナリトノ語氣ヲ洩ラシタル末目下曹交通總長ニ於テ取消策ニ苦心中ナリト述ベタル処二月拾四日ニ至リ陸ヨリ更ニ電話ヲ以テ本件ハ去ル十二月ノ國務會議ニ於テ交通總長ヨリ提案セラレ詮議ノ結果直ニ國務總理ヨリ在巴里陸徵祥ニ宛テ平和會議ニ本件提出見合方ヲ電訓セル旨内告シ來レリ(十四日)

六〇七 二月十四日

在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

國務會議詮議ノ結果中国鐵道國際管理問題ヲ  
講和會議ニ提議スルコトヲ見合セタル趣報告  
ノ件

六〇八 二月十四日

中西通信次官ヨリ  
幣原外務次官宛

中国鐵道ヲ國際管理ニ移サントスル元米國留  
學生團ノ運動ニ関スル在北京中山技師ノ報告  
書送付ノ件

附屬書 在北京中山技師報告書写

外第八九八号

(二月十五日接受)

大正八年二月十四日

通信次官 中西清一(印)

外務次官 幣原喜重郎殿

支那全国ノ鉄道ヲ国際管理ニ移サントスル運動ニ関スル件

本件ニ関シ別紙写ノ通在北京中山技師ヨリ報告有之候条為御参考及送付候也

(附屬書)

中国鉄道ヲ国際管理ニ移サントスル元米留學生団ノ運動ニ関スル在北京中山技師報告書写

第六十号

北京 中山技師

中川通信局長殿

若宮管船局長殿

支那全国ノ鉄道ヲ国際管理ニ移サントスルノ運動ニ就テ

近来欧米人間ニ支那全国ノ鉄道ヲ国際管理ノ下ニ置カントスルノ運動アリ殊ニ英米公使館ノ商務官ノ如キハ熱心ナル

賛成者ニシテ既ニ本月二日交通部鉄道顧問ベーカー氏ノ宅ニ第一回會議ヲ開キタリトノ噂アリ、更ニ遡ツテ本問題ノ来歴ヲ聞クニ交通部鉄道ニ關係ヲ有スル米留學生ノ主唱ト運動ハ最近原因ヲ為シタルモノノ如シ

漏レ聞ク所ニ依レハ鉄道ニ關係アル米留學生ハ三十六名ノ連名ニテ昨年末米大統領宛電報及書面ヲ發シ支那鉄道ヲ国際管理ニ置クノ必要ヲ述ヘ且此目的ノ為メニ大統領ノ尽力ヲ請ヒタリトノ事ナリ其要領左ノ如シ

一、米留學生団ノ主腦者ハ現京漢鐵路局長王景春(前交通部參事、前交通部鐵路會計司長ニシテ現ニ交通部鐵道會計及統計統一委員會副會頭)ニシテ英英語ニ巧ニシテ欧米人間ニハ Dr. C. C. Wang トシテ信用ト名譽ヲ博シ今回葉恭綽ト共ニ欧米ニ出張セリ、彼ハ從來交通部内ニ於ケル欧米留學生ノ主腦トナリ、常ニ日本留學生ノ為メ又ハ日本關係ノ問題ニ對シテハ反對ノ態度ヲ採リタルモノナリ

二、米大統領ニ對スル電報及書面ノ發送ニ關シテハ交通部當局者ニ秘密ニスルコトトシタルモ其実連名者ノ中ニハ交通部參事アリ、路政司ノ科長アリ、地方鐵路局長ア

ルヲ得ヘシ

乙、支那領土内ニ在ル外国ノ鉄道ヲ支那国有ニ移ス

コト

尚本項理由ノ中ニハ近来日本ノ野心アル鐵道借款ヲ排除シ得ルコトヲモ列挙シタリト謂フ

右決議ニ對シ支那鐵道上最モ有力ナル梁士詒カ會議ノ席上ニテ發表シタル意見ナリト謂フヲ聞クニ梁ハ表面反對ノ意見ヲ述ヘアルモ内心ニ於テハ恰モ賛成シタルト同一態度ヲ示シ且曰ク若シ米國ヨリ斯ル申込アルトキハ適當ニ考慮スヘシ云々ト

今回葉恭綽カ王景春ト欧米ニ同行シタルニ就テハ彼地ニ於テ必スヤ本問題ニ就キ出来ル丈ノ運動ヲ試ムヘク一面当地ニ於テ英米商務官ト鐵道顧問ト相連絡シテ計畫ヲ進ムルトキハ如何ナル結果ニ到着スヘキヤ未タ知ル可カラス其結果如何ニ依リ最モ重大ナル影響ヲ受クヘキ本邦ハ本問題ニ對シ如何ナル態度ヲ採ルヘキヤ、先日管船局長ニ御通報致シ候航政顧問ニ英人ヲ聘シタル問題ト相對シテ大ニ注意ヲ要スル出来事ト存候ママ不取敢及報告候 敬具  
追テ米留學生団ノ決議及米大統領宛電報ノ内容ノ原文

三、米留學生ノ決議ノ要領左ノ如シ

イ 支那全国ノ鉄道ヲ税関、塩務又ハ郵政ノ如ク外国人ヲシテ管理セシメ以テ事業ノ擴張及統一ヲ図ル事

ロ 列國共同ノ出資ニ依リ

甲、将来ノ擴張ヲ遂行スルコト、乙、露國ヨリ東清鐵道、日本ヨリ南滿鐵路、独逸ヨリ山東鐵道、仏ヨリ雲南鐵道、英ヨリ 鐵道ヲ買収スルコト

ハ 本計畫ノ必要ニシテ且有益ナル理由トシテハ

甲、從來交通當局者ノ更迭アル毎ニ鐵道政策ニ變更ヲ来タシ且猥リニ鐵道當局者ノ更迭ヲ見ル為メニ鐵道事業ノ擴張改良整理ヲ実行スルコト能ハス然ルニ彼ノ税関ノ如ク、塩務ノ如ク或ハ郵政ノ如ク之カ經營及職員任命ノ權ヲ外國人ニ委任スルトキハ前記ノ如キ不利ナク以テ事業ノ發達改良ヲ期ス

ハ未タ入手致サス候前記ハ聞取り書キニ候為念

六〇九 二月十五日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ  
上原参謀総長宛(電報)

中国鉄道管理問題ハ他日平和會議ニ提出ノコ  
トナキヲ保セザルニ付注意ヲ要スル件

(二月十八日写外務省接受)

支極秘第六一號

昨日陸宗輿ヨリ公使館ヘノ通報ニ依レハ一昨十三日ノ國務會議ニ於テ曹汝霖ノ發議ニヨリ支那鐵道ヲ國際聯盟ノ管理ニ委スルノ不可ナルコトヲ議決シ早速在巴里陸媾和委員ニ電報シ右ニ関スル外交調査委員會ヨリノ要求ヲ中止スヘク命令セシ由ナリ然レトモ本件ハ他日何カノ機會ニ於テ平和會議ニ提出セラルルコトナキヲ保セス大ニ注意ヲ要スルモノナリト思考ス

關東参謀長、青島参謀長、天津軍司令官、台灣参謀長、  
浦潮、中支派遣隊司令官済

六一〇 二月十五日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ  
上原参謀総長宛(電報)

中国鉄道国際管理問題ニ関スル關交通部前路  
政司長ノ報告大要報告ノ件

附記

二月十九日附在北京速水篤次郎ヨリ大倉組門野  
重九郎宛書信写  
中国鉄道国際管理案ノ真相ト对中国日本利権ノ  
危機ニ付報告ノ件

公第六四号 (二月二十四日接受)

大正八年二月十七日

在支那

特命全權公使 小幡西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

支那鐵道國際管理ニ関スル件

本件ニ関シテハ往電第一五八号及第二一四号電報ノ次第モ有之候処二月十七日ノ唯一日報ハ「連盟国共同シテ支那鐵道ヲ管理スルノ駭聞」ト題シ交通部前路政司長閔慶麟カ二月十六日鐵路協會ニ於テ為サレタル報告ノ大要トシテ左ノ如キ掲載ヲ為シ居レリ鐵路協會ハ当国鐵道界唯一ノ有力ナル機關ニシテ且閔司長ノ位地ニ顧ミ其報告ノ大ニ本件消息ヲ窺知スルニ足ルベキ次第ニ有之候

鐵道國際管理問題方國務會議ニ於テ否決サレ  
タル経緯ニ付徐樹錚談話報告ノ件

(二月十八日写外務省接受)

支極秘第六四号

本日徐樹錚、齋藤中将ニ対シテ曰ク全国鐵道ヲ國際管理ノ下ニ置ク件ハ熊希齡、梁士詒等ノ主唱ニテ畢竟彼等ハ近時米國ノ勢力偉大ナルニ眩惑シ其ノ欲心ヲ得テ自己ノ地位ヲ有利ナラシメントノ欲ニカラレタルモノナリ

十日午前外交委員會ハ王揖唐、陸宗輿等ノ欠席セルニ乘シ突然該案ヲ決議シ在巴里媾和委員ニ電報セリ尤モ錢國務總理ハ該件ヲ承認シアリシカ發電ノ翌日曹汝霖之ヲ知り猛烈ニ反对シ十一日ノ國務會議ニ於テ之ヲ否決シ直ニ巴里ニ電報シタリト

支那人ハ売國的行為ヲ敢テシ尚強者ニ阿附セントスルノ通有性ヲ有スルハ今更論スル迄モナシ我對支政策ニ於テモ主義一貫シテ動搖スルコトナク東洋ノ強者タルヲ悟ラシメザレハ将来一層重大ナル事件ノ發生スルナキヲ期シ難シ

六一一 二月十七日 在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛

同報ハ先ツ近日交通界ニ一種駭クベキ新聞ヲ發生セリ即チ聯盟国カ支那ノ鐵道ヲ管理セントノコト是ナリ其議最初米國國務卿ヘイ氏ニ發サレ曾テ國際的支那鐵道ナル論文ノ發表アリシカ近口北京ノ法文政聞報ハ本件ニ関シ二回論述鼓吹スル所アリ本社ハ事ノ重要ナルヲ以テ詳細調査中乃チ閔氏ノ報告ヲ得タリトテ次キニ閔氏ノ言ヲ述ヘテ云フ

閔君云フ聯盟各国カ支那鐵道ヲ共同管理セントノ提議ノ一事ハ去年末大總統ヨリ此事タル暫時交渉ニ提出スル能ハス宜シク社会方面ヨリ提起研究シテ以テ政府ノ補助ヲ為シ且意見ヲ表示スベシトノ論アリ要スルニ万国聯合投資築造ハ本ト極メテ賛成ナルモ惟心ニ辺遠各省ノ鐵道ナキ者ヨリ着手スベク其ノ已有ノ鐵道ハ外国人ノ管理ニ歸セシメサルベシトノ語アリ本会ハ既ニ此委託ヲ受ケタレハ自ラ応ニ隨時開會討論シテ輿論ヲ鼓吹シ並ニ歐洲ニ電報疏通セバ庶クハ万一二挽回シ得ヘシトセリ査スルニ此事各西洋新聞ノ所載同シカラス而モ大体相仿タリ其最重要ノ目的ハ以下ノ数端ニ外ナラス。

(一)勢力範圍ノ打破(二)各国ノ自由投資(三)材料購買ト人ヲ聘用スル国界ノ分ナシ(四)金融ノ開放ナリ其弁法トテハ

(一) 國際委員會ヲ設ケ最關係アル五国即チ英仏米日本ト支那トヨリ各委員ヲ派シ會議ノ後執行部ヨリ弁理ス

執行部ノ首領ニハ欧米人ヲ用フ

(二) 交通部ノ下ニ中央路政管理司ヲ設ケ亦五国委員ヨリ組織ス

(三) 支那鉄道ヲ完全ナル國際鉄道機關トス

(四) 塩務署ノ弁法ニ照ラシ支那人ヲ以テ首領トシ欧米人ヲ

副首領トス

此外尙最要トスル者銀行団組織ノ弁法ナリ支那ヨリ銀行団ニ向ヒ借款シテ借款ニヨル現有ノ鉄道ヲ買収統一シ管理權ハ從前ノ分線分段トモ一律ニ取消シタル上別ニ区画ヲ定メ又借款ト材料購買ト築造トヲ別々トスルニ在リ以上二種ノ弁法中我国ニ利ナルモノハ

(一) 一時ニ多クノ鉄道ヲ造成シ得

(二) 自由築造權ヲ回復ス

(三) 商業弁法ニヨリ鉄道ヲ造ルハ弊害ナシ政治上軍事上ヨリ規則ヲ破壊サルルコトナク亦運賃モ不平等ノ事ナシ

(四) 利益ハ専ラ鐵道用ニ供スルヲ得

(四) 材料製造ヲ画一シ得ベシ

以上ハ皆利益方面ニシテ其弊ヲ避クルハ亦本会ノ研究スベキ処ニテ其我國ニ不利ノ点ヲ挙クレハ

(一) 我國ハ鐵道ヲ弁理スルノ能力ナキヲ承認スルコトトナル

(二) 運賃ハ自由ニ定ムル能ハス

(三) 借款築造ハ五十年ヲ限り還償シ得ヘシトスルモ須ク知ルベシ同時ニ举升セハ其費用ハ一億以上ニテ若シ五十年後買収シ得ストセハ損失ハ固ト勿論ニテ即チ買収セシムルモ我國ハ同時ニ巨金ヲ流出スルコトトナリ国内ノ金融如何ノ情体ニ陥ルヤヲ知ラス

以上ノ問題ハ皆応ニ詳細ニ研究スヘク我ヲ愛スルノ友邦ノ好意ヲシテ反ツテ我國無窮ノ害ヲ受クルヲ致ス勿ラシムベキナリ且独逸ハ此度人道戰爭ニ屈服スル後各国ハ該國全国ノ幹線ヲ國際鐵道ト為シ報復スル能ハサラシムベシト主張セリ我國ハ此度參戰ニ功有ツテ得ル所ノ結果カ独逸ト同ウストセハ果シテ何ノ罪ニヨリ此処分ヲ受クルカ此亦同人ノ応ニ注意スベキモノナリ云々

ト有之候由来鐵路協會ハ梁士詒葉恭綽旧交通系ノ根拠トス

ル機關タレハ今回ノ事曹汝霖一派新交通系ノ反對スル処トハ果シテ事實ナリトセハ前記往電各種ノ行動ハ勿論梁士詒及赴欧中ノ葉恭綽トモ相聯応脈絡アル行動ト推測セラレ鬼ニ角本件ノ真相全般ヲ窺知スル參考トシテ不取敢及報告候也

(附記)

在北京速水篤次郎ヨリ大倉組門野重九郎宛書信

中国鐵道國際管理案ノ真相ト對中国日本利權ノ危機ニ付報告ノ件

(供内覽)

大正八年二月十九日

於北京

速水篤次郎

東京

門野重九郎殿

拝啓支那鐵道國際管理案ノ真相ト對支日本利權ノ危機ニ就キ左ニ御報告申上候

支那鐵道國際管理案ノ発端

國際管理說ハ当初交通部内若手間ニ戰後支那ニ於ケル鐵道利權ハ各国ノ爭奪競争愈々激甚ヲ見ルベク之ガ予防策トシテ将来計画セラルベキ鐵道ヲ國際管理ノ下ニ置クコトトシ

テ各国ヨリ蒙ルベキ压迫ヲ免ルベシトノ說ヲナスモノアリシニ始マリ其当初単ニ部内ノ一意見ニシテ何等具体的ノモノナラザリシナリ

在支英米人ノ日本ノ對支勢力牽制策

歐洲大戰中日本ノ對支鐵道利權ハ着々伸長セラレ列國殊ニ在支英米人ノ嫉視スル所トナリ常ニ事毎ニ新聞紙ヲ利用シテ排日氣勢ヲ煽動シ日本ノ對支策ニ妨害ヲ加ヘツツアリタルガ交通部壯年者ニ上記ノ國際管理說アルヲ利用シ交通部内英米留学生ヲ煽動結束セシメ之ニ說クニ現在支那鐵道中収益ヲ上ゲ得ル線ハ多ク列國ノ専有ニ属シ借款鐵道ハ其契約条件ニヨリ種々ノ拘束ヲ蒙リ時々政治的の干涉ヲ受クルノミナラズ借款条件過重ニシテ元本利子ノ償還頗ル困難ナリ今日ニ於テ塩務行政ノ如ク外人ヲ加ヘタル管理機關ヲ組織シ其管轄下ニ支那全鐵道ヲ統一シ各国ノ侵略的野心ヲ防止スルコトトセバ一面各国ノ野心ヲ防止シ他面借款ヲ整理シ収益ヲ上ゲ得ベシトノ說ヲ勸告シ当初部内ニ存在セシ将来計画セラルベキ鐵道ヲ國際管理ニ移スベシトノ意見ヨリ一步ヲ進メ仏ノ滇越鐵道(雲南)日ノ南滿鐵道及山東鐵道、露ノ東清鐵道等ノ専有線ヲ買収シ之ニ既未設借款鐵道及政

府所有鉄道ヲ併合シ国際管理ノ下ニ置クベシトノ意見ヲ交通部内ノ英米留学生並ニ親英米派ニ主張セシメ其主張漸ク部内ニ唱導セラルルヤ常ニ其裏面ニ於テ活動セシ交通部顧問「ペーカー」氏英支シンジケート代表「メーヤース」氏ハ具体的ニ国際管理案ヲ交通部ニ提議シ一面列国ノ賛成ヲ勧誘セリ

#### 両氏提案ノ内容

両氏ノ提案ハ共ニ在支列国専有鉄道及借款鉄道並ニ国有鉄道ヲ統一シ日英米仏ノ代表者（白、露兩國ノ利益ハ仏国代表者ニ代表セシム）ト支那人トヨリナル塩務署ノ如キ国際委員ヨリナル機関ヲ設ケ管理經營セントノ意見ニシテ「メーヤース」氏ハ更ニ詳細ニ入り各線合シテ十五線ヲ十三系統ニ分チ一系統ニ各部ノ主腦ヲ計六人トシ十三系統ニ対シ日、英、米、仏、白、露人ヨリ七十八人ヲ採用スベク各国ノ割合ヲ英人二十二名米人二十名仏人十六名、日、白人各九名露人二名トセリ（別紙両氏提案略ス）以上ノ如ク米国ハ現ニ専有鉄道モ既成単独借款鉄道モ有セザルニ不拘日本ノ二倍以上ノ米人ヲ採用セシメントスル如キ頗ル虫ノヨキ奇怪ナル案ナリ

ハスベキヲ内閣ヨリ電命セリ又外交委員会ニ対シテ同委員一部ノ意見ニシテ何等決定案ニアラザルコトヲ再電セシメ前電ノ取消ヲナサシメ斯クテ本案ハ一時消滅シタル次第ナリ

#### 親英米派ナル旧交通系ノ画策

旧交通系対新交通系ノ反感ハ愈々激烈ニシテ親英米派ノ結束ヲ強固ナラシメ在支英米人ト提携シテ新交通系排斥ニツキ暗中飛躍ヲ繼續シツアルガ葉恭綽一行ノ米仏ニ於ケル勸説進歩党梁啓超ノ英仏ニ於ケル勸説ト相呼応シテ最モ親米ノ色彩濃厚ナル顧維鈞陸徵祥等ノ媾和委員間ニ於ケル運動ニシテ着々成功センカ鉄道国際管理案ノ如キ死灰再燃如何ナル変化ヲ見ルベキヤ予想シ難キモノアリ殊ニ南北妥協ノ進行ニヨリ北京ニ政變ヲ誘発スベキハ予想シ得ル所ニシテ今次ノ妥協ニ干スル功勞者トシテ梁士詒周自齊唐紹儀等ノ系統ヨリ政府ニ割込ヲ見ルコト亦明カニシテ親米派ノ時代現出遠カラザルニ反シ対日借款ニヨリ常ニ南方政客ノ反感ノ的トナリシ新交通系ノ政權維持ハ頗ル困難ナルモノアリ親米派カ此際隱忍シテ鉄道国際案ヲ一時撤回シタル其成功ヲ期シ得ベキ時期迄延期保留セルモノトモ解シ得ベキナ

#### 鉄道国際管理案ト交通部内ノ党派

交通部内ニ於ケル曹汝霖一派ハ戦時中日本借款ノ成立ニヨリ其勢力ヲ著シク増大シ旧交通系ヨリ自然分離シテ新交通系ナル一派ヲ形成シ部内ニ専横ヲ擅ニセリ新交通系必ズシモ親日派ニアラザルモ日本借款ニヨリ其地盤ヲ固メタルト日本ニ干係多キ顏振ナルトヨリ親英親米派ナル旧交通系ハ之ヲ親日派ト称シ其勢力削減ニツキ常ニ在支英米人ノ後援ヲ得テ苦心画策セルガ恰モ鉄道国際管理案ヲ以テ親日派ヲ根底ヨリ覆サントスル計画ヲ立テ「メーヤース」氏案ノ実行ヲ期シ各方面ヲ勸説シテ愈々該案ヲ外交調査会ノ議題トシタリ当時梁士詒（旧交通系主腦）ハ鉄道統一殊ニ各国在支鉄道回収ニハ賛セルモ国際管理ニハ不賛成ヲ唱ヘタルモ部下ノ旧交通系幹部タル周自齊其他極力賛成ヲ唱ヘ曹汝霖欠席ノ際之ヲ可決シ錢總理ニ内談シテ外交調査会ヨリ在支那媾和委員ニ會議ノ議題ニ提出スベキ旨打電セリ

然ルニ交通總長曹汝霖ハ其主管事務タル鉄道ニ干スル重大ナル事件ヲ外交調査会ニテ決シ主務總長ヲ出シ拔キ殊ニ閣議ノ決定ヲ待タス媾和委員ニ電命セルノ越權不法ナルヲ主張シ終ニ閣議ノ決定ヲ待ツテ在支媾和委員ニ其提出ヲ見合

リ

米國資本団代表「アボット」氏ノ来遊ト日本利權ノ危機

米貨一億弗ヲ対支各種事業ニ投資スベク米國資本団ヲ代表セル「アボット」氏ノ渡支ハ支那官民各方面ヨリ頗ル興味ヲ以テ迎ヘラレツツアリ殊ニ親米派ノ提携活動ハ注目スベキモノアルヲ思ハシム「アボット」氏渡支ノ目的ハ昨初夏駐支米國公使「ラインシュ」氏ノ帰朝ニ際シ米國ノ対支投資ニツキ本國政府ヲ熱心ニ説得シ六國財団脱退宣言以來大統領領ト米國銀行団間ニ存セシ障壁ヲ撤去シ昨夏紐育銀行業者ト國務卿代理トノ会見ノ一幕ヲ仕組ミ兩者間ノ意思ヲ疏通セシメ終ニ前宣言ニ正反對ナル態度ヲ米國政府ヲシテ承認セシメ米國資本家ノ対支投資ニ政府ハ積極的援助誘導ヲ辞セサルベキヲ宣言シタル結果ニヨル財団復歸ニ干スル交渉ヲ主要ノ要務トセルモノナルベキガ米國ハ財団復歸ノ条件トシテ政治借款ハ固ヨリ一切ノ經濟借款ヲモ挙ゲテ財団ノ手ニ引受クベキヲ提案シタルコト吾人ノ記憶ニ新タナル所ナリ米國資本団ガ財団復歸ト共ニ政治借款ノ外交通鈺山及製造諸工業ニ至ル迄一切ノ事業ヲ國際財団ノ手ニテ投資

セント目論見ヲ折柄「メーヤース」氏及「ペーカー」氏ノ鐵道國際管理案ノ提議ハ特ニ注意ヲ要スベキノミナラズ「ペーカー」氏ノ鐵道管理案末項ニ特ニ鉅山、工業等ヲモ國際管理機關ノ下ニ經營スベキヲ記セルノ提議ハ「アボット」氏ノ來遊ト何等カノ干係連絡アルヲ想像セシム現ニ支那ノ財政極度ニ行詰マリ資金枯渴シ政府当局者ハ「アボット」氏ノ來遊ヲ待ツコト早天ニ雲霓ヲ望ムガ如キ有様ニシテ同氏ガ南北妥協成立以前ニ敢テ投資ヲナスベキヤ否ヤ固ヨリ疑問ナルモ同氏ヲ中心トシテ政府各派ノ運動混乱ヲ見ルベシ新交通系ヲ以テ親日派ト云フモ真ノ親日派ニアラザル重心主義ノ豹變巧妙ナル一派ナルト支那政客ノ進退ハ常ニ想像外ニ出ツルモノアルヲ予想スル時ハ親日派ト目サル、一派ガ敵ノ武器ヲ削ル手段トシテ自ラ「アボット」氏ト結ブコトナシト保シ難ク如此屢々實見スル所ナレバ日本ノ對支經濟の利權ハ頗ルニ危態ニ瀕セルモノアルヲ覺ユ、記シテ「アボット」氏來着後ノ事實ニ徴セン

# 結論

拙者ハ昨年夏期米國戰後ノ對支經濟策トシテ既ニ諸般ノ施設ヲ着々実行シツツアル事實ヲ列記シ同時ニ在支那英米人

提携ノ下ニ日本勢力ニ對抗セントスル傾向ノ具體的ナラントシツツアルヲ報告セリ仏國ニ於ケル世界媾和會議漸ク端緒開キタルニ過ギザル今日既ニ米國資本ノ支那ニ殺到シ来ラントスル傾向ヲ示シ一方在支英米人ノ提携愈具體的トナリ日本ノ戰時中ニ得タル經濟的施設ニ容喙セントシ支那政府亦慣用手段タル外國ノ牽制ヲ利用セントスル態度ヲ採レル今日四面ノ狀況最モ我ニ不利ニシテ此際鐵道借款ノ交渉ノ如キ難中ノ難ナルモノニシテ其前途混沌タルモノアルヲ予想セシム

(了)

六二二 二月二十二日

金谷天津軍司令官ヨリ  
上原參謀總長宛(電報)

交通部顧問「ペーカー」等ノ中国鐵道國際管理案ニ関シ報告ノ件

天電第二八号

(二月二十五日写外務省ニ接受)

支那交通部顧問米人「ペーカー」中央公司代表者英人「メーヤース」左記鐵道管理問題ニ関シ(不明)國際管理案トシテ支那鐵道十八線路(予定線ヲ含ム)ヲ十三区ニ別チ之ヲ露國二名日本九名英國二十二名仏國十六名米國二十名白耳義八名合計七十七名ノ委員ヲ選出シ是等ヲシテ管理セシム

## ムズ記事報告ノ件

公第七六号

(三月四日接受)

大正八年二月二十六日

在支那

特命全權公使

小幡西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

- 一、支那政府ハ鐵道ヲ經營スル能力ナク既ニ鐵道借款ノ償還期モ數年内ニ迫リ居ルモ返還ノ見込ナシ
- 二、英米ハ戰後支那ニ於テ經濟ノ安固ヲ期スル為鐵道ノ政策ヲ望ミ居レリ
- 三、將來滿鉄、東清、雲南、山東ノ諸鐵道ヲ回收スルニハ英米ノ助力アレハ目的ヲ達スルコトヲ得
- 尚鐵道管理案ノ要旨次ノ如シ
- 1、從來ノ鐵道借款及外國管理ノ鐵道ニ對シ新公債ヲ發行ス其額合計三千八百四十八万磅
- 2、共同管理機關ハ交通總長ヲ督辦ニ次長ヲ介辦ニ任シ其下ニ各國委員ヲ設ケ一切ノ鐵道行政ヲ行フ
- 3、委員ノ數六十七名
- 4、會計官視察官ハ委員會ニ於テ任命ス
- 5、鐵道材料ハ委員會ニ於テ公平ナル自由入札ニ依リ買入
- 6、委員ハ鐵道擴張權ヲ保有ス

六二三 二月二十六日

在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛

中国鐵道國際管理問題ニ関スル北京天津タイ

北京天津「タイムス」ノ排日の筆鋒近來頗ル露骨トナリ特ニ同紙北京通信ノ如キ有ラユル問題ヲ捉ヘテ日本攻撃ノ具ニ供シツツアルハ迭次ノ報告ニ拠リ御了悉ノ通ニ有之候処本月二十四日ノ同通信ハ鐵道問題ナル題下ニ於テ支那鐵道國際管理問題ニ論及シ曹汝霖ヲ頭目トシテ由来日本側ト醜惡ナル因縁ヲ有スル諸分子カ私利ノ觀念ヨリ極力之カ反對運動ヲ試ミツツアル旨ヲ摘發シ而シテ日本側亦之ニ呼応シテ本計畫實現阻止ノ為ニ努力シツツアルハ顯著ナル事實ナルカ支那人士ハ須ク当面ノ問題カ支那ニ於ケル鐵道制度カ日本ノ鉄蹄下ニ置カレ且之ヲ支持スル一部ノ私囊ヲ温ムルノ具ニ供セラルルヲ默認スヘキヤ將又何等政治上ノ意図ヲ有セサル外國専門家ノ援助ニ倚賴シ鞏固ナル財政及行政上ノ基礎ヲ確立シテ之カ管理發展ヲ期スヘキヤニ在ルヲ考慮

セサルヘカラサル旨痛論致居候以上ハ北京通信員一流ノ曲筆舞言ニ過キス候得共当地方英字新聞ノ昨今ニ於ケル論調ノ一斑トシテ何等御参考迄ニ貴聞ニ達シ候次第ニ有之委細ハ別添切抜ニ就キ御了悉相成度此段及報告候也

註 別添切抜ヲ省略ス

六一四 三月四日 在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

中国鉄道国際管理問題ト中国内部ノ政争トノ

關係、問題ノ排日の意味等ニ関スル李參議院

議長談話報告ノ件

第二九四号

最近船津李參議院議長往訪ノ際、談偶鉄道国際管理問題ニ及ブヤ李ハ極内密トシテ抑モ本問題ノ首唱者ハ梁啓超ニシテ同氏渡欧前已ニ英米兩國公使トノ間ニ意見ノ交換ヲ試ミ特ニ聯合側トハ相当ノ程度迄諒解ヲ遂ゲタリト信ズ可キ理由アリ而シテ梁出發後ニ於テハ汪大燮林長民等ヲ中心トスル外交委員会ニ於テ之ヲ支持シ熊希齡周自齊等ノ画策等ト相俟ツテ終ニ徐總統ヲ動かシシ在仏使節ニ對シ訓令ヲ發スル

ニ至リタル次第ナルガ本問題ガ斯ク疾風迅雷ノ勢ヲ以テ急進シタルハ外ニ在リテハ英米兩國側ノ煽動亦与リテ力アリタルハ勿論ナル可キモ内ニ在リテハ徐總統ガ就任以来常ニ八面玲瓏ノ態度ニ出デ研究会派ヲモ籠絡シテ自家權威ノ擁護ニ資セントスル魂胆ヨリ容易ニ彼等ノ建言ヲ承引セルコト又其主因ノ一ナルベキカ元來該問題ニ関シテハ一般民論ハ寧ロ反對ニ近シト認ムベキニ抱ラズ一部政治家ガ巧ニ外人ノ勢力ヲ利用シ自派權勢ノ維持挽回ヲ期セントシ、為ニ急速度ヲ以テ問題ノ發展ヲ来セルモノト云フヲ得ベキカ玆ニ看過スベカラザルハ大總統退職以来政界ニ意ナキヲ標榜シテ悠々自適ノ觀アル馮國璋ノ態度ニシテ其莫大ナル金力ヲ擁シ研究会ヲ利用シテ他日捲土重来再ビ政界ニ雄飛セントスルノ野心ヲ有シ裏面ニ於テ段祺瑞ヲ擁護者トスル所謂新交通系ノ現勢ヲ篡奪センガ為計畫シツツアルハ掩フ可カラザル事實ニシテ斯クノ如ク鉄道国際管理問題ハ外交、内政兩方面ノ理由ニ基キ種々ナル原因紛糾シ其ノ根底意外ニ強固ナルモノアリ從ツテ何時再ビ具体的促進ヲ見ルニ至ル可キヤモ保シ難ク其動機ハ之ヲ以テ直接間接日本側抑圧ノ具ニ供セントスルノ意味合ヲ藏スルハ著名ナル事實ニシ

テ此ノ点ハ日本為政家ノ切実ナル考慮ヲ費サザル可カラザル所ナル旨内話セル趣ナルガ上述李議長ノ内話ハ或ハ本件内部ノ真相ヲ伝フルモノト認メラレ兎ニ角数年ニ亘リ伏在助長セラレタル中外ノ對日惡感ハ支那一部政治家ノ党派の野心ト相俟ツテ独リ該問題ノミナラズ他各般ノ問題ニ排日鋒鋷ヲ露ハシツツアル次第ニシテ今ヤ此風潮ハ漸ク從來親日の傾向ヲ有セル人士ニモ波及セントシツツアルガ如ク現ニ最近曲同豐ハ船津ニ對シ日本政府昨今ノ態度ハ不偏不党ヲ標榜シテ南北兩派ノ歛心ヲ得ンガ為専ラ腐心中ナルモ双方ノ満足ヲ同時ニ買フコトハ到底不可能ナリ (以下略)

六一五 三月八日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ  
上原參謀總長宛(電報)

曹汝霖梁士詒等ノ中国鉄道資本團設立計畫ニ

関シ報告ノ件

支極秘一〇三号 (三月十二日写外務省接受)

支那鉄道協同管理問題ハ既ニ國務院ニテ否決シタレハ当分ハ炎エ上カルコト無カルヘシト雖モ未タ全ク立消エニナリシモノトモ思ハレス玆ニ於テカ曹汝霖、梁士詒等相謀リ他

八 中国鉄道国際管理問題一件 六一五 六一六

日再ヒ問題トナル場合之ヲ履行センカ為支那鉄道資本團ヲ設立セント計畫中ナリ其内容ハ西原案ヲ融和折衷シタルモノニシテ未成鉄道速成ノ為鉄道公債ヲ發行シ内外市場ニ売り資金ヲ集メ之ヲ鉄道特別會計トシ一般財政ト區別ス其會計監督ニハ外人ヲ採用セントスルニ在ルモノノ如シ

六一六 三月十一日 在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

中国鉄道統一問題ニ関スル錢總理ト外交委員

会及交通系トノ討議結果報告ノ件

別電 同日在中国小幡公使宛内田外務大臣宛電報第三

四六号

右ニ関スル統一案

第三四五号 (三月十二日接受)

錢總理ガ外交委員会及交通系ノ重ナル人々ヲ召集シ、鉄道統一問題ニ對シ討議シタル結果大要別電第三四六号ノ通ノ成案ヲ得タル旨漢字新聞ニ掲載セラレタルニ付右会合ニ臨席シタリト伝ヘラレタル曹汝霖ニ邂逅ノ際右報道ノ実否ヲ確メタル処新聞紙上ニ伝ヘラレタルハ外交委員会ノ腹案ナルガ自分等ノ見ル所ニ依レバ別電中(一)南滿其他各鉄道買取

ノ件ハ当該鉄道ニ関スル外国ノ利益ガ条約ニ其クモノナル以上相手国ノ同意ナキ限り支那側ヨリ進ンデ提議スルモ成効ノ見込ナキハ明カナリ只(三)支那資本家ノ組織ニ依リ予定線ノ統一ヲ期スルノ案ハ實際のニシテ且比較的難事ニ非ズト思考スル旨ヲ述べ居タルガ一方林長民モ当館員ニ対シ大要別電ノ報道ノ如キ協議アリタルハ事実ナル旨語リタル趣ナルガ右兩人ノ口吻ヲ綜合スルニ本件ハ未ダ確定議ニ達シタルニハアラザルモノノ如ク從テ已ニ陸徵祥ニ対シ講和會議ニ本案提出方ヲ電訓シタリトノ新聞紙ノ報道ハ未ダ遽ニ信ヲ置キ難キモ不取敢御参考迄ニ電報ス

## (別電)

三月十一日在中国小幡公使宛内田外務大臣宛電報第三四六号

中国鉄道統一案

## 第三四六号 別電

(一)政治的性質ヲ有スル借款ニ依リ建設セル鉄道即南滿、東清、滇越、山東、吉長、安東ノ諸線ハ支那政府ヨリ別ニ外國資本団ヨリ借款ノ上之ヲ回収スルコト  
(二)外債ニ依リ建設セル既成鉄道即京奉、滬寧、津浦等ノ各

諸鉄道回收案ハ重大ナルコトニシテ自分ノ云フ能ハサル所ナリト答ヘタル趣ナル処以上ノ真相並本問題其後ノ經過詳細電報アリタシ

六一八 三月十四日

在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

中国側鉄道統一案ニ関シ陳外交総長代理ト会

談結果報告ノ件

## 第三五八号

往電第三四五号及第三四六号ニ関シ

三月十二日本使外交総長代理ニ会见ノ序ヲ以テ往電第三四六号所載ノ成案ナルモノハ(一)支那政府ノ正式案ナルヤ、非公式ノモノナリヤ(二)在巴里委員ニ電報セリトノコトナルガ右ハ事実ナリヤ(三)若シ該電報ニシテ事実トセバ支那政府ハ該成案ヲ巴里會議ニ提出スルノ意思ナリヤ実ハ該成案ノ一項ニハ南滿鐵道ノ如キ日支間ノ条約ニテ回収期限ノ規定アリ日本ニハ重大ナル關係ヲ有スル問題ナルニ付帝國政府ニ報告ノ都合モアリ其前一応支那政府ノ意向ヲ承知シ置キタシト問ヒ質シタル処同総長代理ハ和平ニ関シテハ内部ニ種

八、中国鉄道国際管理問題一件 六一八

線ハ暫ク其儘トス

(三)外債ニ依リ已ニ起工中ノモノ又ハ未ダ起工ニ至ラザル諸線ハ支那資本団ヲ組織シ外國資本家ノ参加ヲ求メ交通部ニ於テ標準契約ヲ定メ、別ニ新公債ヲ發行シテ鐵道公債ノ統一ヲ期スルコト

四將來ニ於ケル予定線又ハ擴張線ノ辦法如何ハ未ダ決定セズ、又第一項掲記ノ各鐵道ニ関スル各国ノ勢力範圍ハ国ニ依リ同ジカラズ從ツテ之ヲ同一状態ノ下ニ処理スルヲ得ルヤ否ヤニ就テハ尚考慮ヲ要ス

六一七 三月十四日

内田外務大臣ヨリ  
在中国小幡公使宛(電報)

在中国米国公使ノ梁士詒等ニ対スル中国鐵道

共同管理案ノ説明ニ関スル新聞報道ニ付問合

ノ件

## 第三五四号

貴地發東京日々新聞特電ニヨレハ米国公使ハ梁士詒等ヲ招待セル晚餐會ニ於テ支那本位トスル支那鐵道共同管理案ニ付説明スル所アリ且梁ノ質問ニ対シ南滿、東清、山東等、

々複雑セル事情アリ又党派關係モ纏綿シ居リ最初外交委員會ニ於ケル協議案ニ対シ鐵道当局者ハ熱心ニ反對シタル為該案ハ一時頓挫ヲ来シタルモ斯クテハ外交委員會ノ面目ニモ関スル所ナリトテ種々ノ議論アリ結局今回ノ案ハ賛成反對双方ノ主張ヲ折衷セルモノナルガ元來外交委員會ハ支那ノ正式官制ニ無キ臨時ニ設ケラレタル大總統ノ諮詢機關ナリ從ツテ今回ノ案モ支那政府ノ正式案ニ之無ク又支那政府ノ正式案ヲ外交部ヨリハ在巴里委員ニ電報シタルコト無キモ外交委員會ヨリ電報シタルモノト認メラル尤モ該成案ヲ支那ヨリ進ンデ巴里會議ニ提出スルガ如キコトナカルベシト信ズ尙自分(陳)ハ全然一個人トシテ本問題ノ内情ヲ述ベンニ外交委員會ハ理想家人士多ク、鐵道当局者ハ實際家多ク、既ニ種々ナル經驗ヲ有セリ從ツテ後者ハ該成案ハ条約及其他ノ關係ニ依リ実行至難ナルヲ自認シ又仮令該成案ノ実行出来ルトスルモ前者ノ理想ノ如キ支那ニ有益ナル様實行シ得ザルコトヲ十分ニ認メ居レリ該成案ハ実ハ後者ガ該成案全部ノ実行ハ不可能ナルヲ知リツツ外交委員會ノ理想派連中ノ主張ヲモ納レタル如ク見セ掛ケ同派ニ多少ノ面目ヲ保タシメンガ為ニ一策トシテ斯クノ如キ折衷案ヲ作り

ダシタル次第ナリト内話セリ右ハ一応陳ノ陳述セル所ナルモ支那政府ガ何等カノ底意無クシテ外交委員会ヲシテ在巴里委員ニ電報セシメタルモノト信ズルヲ得ズ從ツテ自ラ進ンデ之ヲ講和會議ニ提議スルカ若シクハ英米筋ト馴レ合ヒノ上其ノ提議ヲ俟ツテ同意ヲ表スルノ形式ヲ執ルカ何レニスルモ本件ハ何等機會ノ許ス場合ニ（不明）問題トナルベキモノトノ見込ヲ附ケ其場合ニ処スル我が態度モ早キニ及ンデ講究シ置カレンコト必要ト存ズ

六一九 三月十五日 在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛

中国ニ於ケル鉄道国際管理問題ノ今日迄ノ成  
行報告ノ件

附屬書 中国ニ於ケル鉄道国際管理問題ニ関スル報告書

公第一一一号 (三月二十九日)

大正八年三月十五日

在支那

特命全權公使 小幡西吉（印）

外務大臣子爵 内田康哉殿

支那鉄道共同管理ニ関スル件

本件ニ関シ迭次ノ電報報告等ニ依リ大体御閱悉ノ通りナル処爾來賛否ノ意見激切ヲ極メシ結果裏面ノ情偽各種關係文書迄一切世上ニ暴露セラレ本件ノ始末大体明確ト相成候ニ付前電公信等補足旁概括系統的ニ記述シタル本件始末別紙差出シ供査閱候也

（附屬書）

中国ニ於ケル鉄道国際管理問題ニ関スル報告書

支那鉄道共同管理ニ関シ

（一）本件起源ノ觀察

支那ニ於ケル勢力範圍ヲ打破セサルベカラストハ米國多年ノ主張ニシテ近年殊ニ甚著シキヲ見ル我カ繼承シタル勢力範圍ト目サルル山東省内運河借款交渉當時ノ成行ニ於テモ其一班ヲ徴知スルヲ得殊ニ米國銀行團カ四國銀行團加入ヲ思立ツ対支投資ヲ企図スルト共ニ其念一層切ナルモノアルヲ見ル英國側ニ見レハ英國ハ其支那ニ於ケル投資鐵道ノ管理不善ヲ指摘シ英國ノ手ニテ之ヲ管理經營セントノ希望ヲ有シ曾テ民國三年及五六年ノ交支那側ニ對シ提議スル所アリシカ支那側ノ反對ニ依リ其儘トナリ居リシ事實ハ梁士詒

（一）國際委員會ヲ設ケ最モ關係ヲ有スル英仏米日支那ヨリ各

委員ヲ派シ會議ノ後執行部ヨリ執行ス執行部ノ首領ニハ

欧米人ヲ用フ

（二）交通部ノ下ニ中央路政管理司ヲ設ク是亦五國委員ヨリ組

織ス

（三）支那鐵道ヲ完全ナル國際鐵道機關トスルコト

（四）塩務署ノ辦法ニ照ラシ支那人ヲ首領ト為シ欧米人ヲ副首

領トスルコト

右ノ各説ハ支那側殊ニ鐵道關係側ニ在ツテハ専ラ（一）勢力範

圍ノ打破（二）各國自由投資（三）金融ノ開放（四）材料購買ノ自由ナ

ル利益方面ヨリ研究セラレ居リシハ推測サルル事實ニシテ

鐵路協會副會長閔慶麟カ同協會ニ報告スル所ニ依レハ昨年

末徐大總統カ本件ニ對シ表示シタル意見ニ依レハ

万国聯合投資シテ支那鐵道築造ニハ賛成ナルモ右ハ未タ

鐵道ナキ辺遠ノ各省ヨリ着手スヘク既有ノ各鐵道ハ外国

人ノ管理ニ歸スベカラス

ト云フニ在リ前交通次長葉恭綽カ交通視察ノ為欧米渡航ノ際日本迄同行シタル陳介（參議院議員）カ歸來鐵路協會ニ於テ本件ニ關聯シ報告スル所ニ依レハ葉カ本件ニ關シ夫レ

カ鐵路協會ニ於テ報告スル所ノ如シ今回ノ鐵道共同管理說ハ乃チ此米國側ノ熱心ナル勢力範圍打破說ト又英國側カ米國ト提携共同スルノ必要上且所謂其支那ニ於ケル勢力範圍ノ實際ニ於テ到底永ク持續シ得サルノ事實トニ鑑ミ且其多年ノ希望タル支那鐵道管理ヲ實現セントノ希望トハ期セスシテ合致スルノ已ムナキ情勢トナリ於茲カ支那ニ於ケル英米人及其新聞雜誌ハ本件ニ對シ熾シニ主張ヲ試ミ輿論ノ喚起ニ力メ交通部顧問米人「ベーカー」ノ支那鐵道五國共同管理計畫案トナリ中英公司支配人英人「メーヤース」ノ支那鐵道統一管理案陳トナル之レ實ニ民國七年十月前後ノ事タリ

試ミニ「ベーカー」ノ共同管理計畫大綱ヲ挙クレハ

（一）交通部ノ外ニ一種ノ鐵道統一總機關ヲ設立シ日本鐵道院

ノ辦法ニ倣ヒ内ニ督辦一人ヲ置キ交通總長ヲ以テ督辦ニ

兼任シ其下ニ委員若干員ヲ置キ各債權團ヨリ一人ヲ出ス

（二）各鐵道借款ノ債券ハ全部一律ニ回収シ新債券ヲ改廢シ以

テ某鐵道某國資本タルノ界線ヲ撤去ス

（三）管理運輸ノ權ハ仍チ支那ノ自主ニ歸ス

又「メーヤース」ノ統一管理案陳大綱左ノ如シ

トナク日本当局側ノ意思ヲ探リタルニ木下管理局長ハ支那  
 鉄道ノ統一急務ヲ説キ又井上正金頭取ハ支那鉄道發達ノ見  
 地ヨリ各債權國ノ資本団ヲ一体トスルノ意見ヲ述べタルモ  
 右ハ勿論支那自身ノ立脚地ヨリノ議論ニテ國際管理乃至統  
 一トハ相渉ヲサリシ由ナルモ葉ハ其他日本カ「アボット」  
 ノ来支ニ対スル感想等ヲモ參酌シタル上日本ヲ離ルルニ臨  
 ミ大要左ノ如キ意見書ヲ大總統ニ提出シタル由ナリ

支那鉄道投資關係ヲ默察スルニ英仏白ハ今ヤ其余裕ナク  
 其力アルモノハ日本ト米国ナリ米國ハ資力ニ富ムモ英國  
 ハ従前投資ノ關係上優位ニ居ル向後ノ投資ハ日米或ハ共  
 同シテ支那鉄道ヲ經營セントスルノ形勢アリ若シ勢茲ニ  
 至ラハ表面ハ英米仏露日ハ一団トナランモ事實上ハ日英  
 或ハ日英米ノ其枢要ヲ握ルコト恰モ税関塩務ノ如クナラ  
 ン事果シテ是ノ如クナレハ我國重要ノ交通事業ハ已ニ自  
 由ヲ欠キ所謂支那鉄道ハ他人之ヲ統一スルモノニシテ我  
 ノ之ヲ統一スルニ非ザルナリ所謂勢力範圍ノ打破トハ各  
 國自ラ競争セズシテ協同シテ事ニ従フ事トナリ其弊害タ  
 ル以前ヨリモ甚シク之ヲ現在ノ税関塩務ニ較シ尤モ甚シ  
 各国ニシテ誠ニ我ヲ助クルノ誠意アレハ其如何ニ論ナク

応ニ我ノ自由ヲ留保セサルベカラス即チ用人ノ自由ナリ  
 購料ノ自由ナリ運兵及運賃制定ノ自由ナリ深ク望ム当局  
 カ定見ヲ堅持シ人民ノ為一線ノ生機ヲ留メンコトヲ云々  
 トアリ而シテ葉ト同行シタル米國出身ノ京漢鐵路局長王景  
 春ノ如キハ毎ニ英米四國ノ情勢ニシテ已ニ支那鐵道統一ニ  
 傾キ抑止スベカラサルノ勢ナリトセハ須ク此情勢ヲ支那ノ  
 有利ニ利用スルニ如カズトノ意見ヲ主張シ居レル由ニテ葉  
 ノ此上申ノ如キモ率爾トシテ之ヲ読メハ統一乃至共同管理  
 ニ反対ナルカニ認メラルルモ仔細ニ其用意ヲ推測スレハ列  
 國側ニシテ其用人、購料、運賃制定ノ自由ヲ保証セハ決シ  
 テ反対スルモノニ非ザルモノト認メラル但シ英國多年ノ主  
 張支那人管理不信用説ト所謂米國側ノ勢力範圍打破ト此葉  
 氏等ノ主張ト因果シテ如何ナル程度迄融和セラルベキヤハ  
 疑問ナルノミ要スルニ以上ハ本件発端ノ概要ニシテ在住英  
 米人側ハ勿論兩公使館側ニ於テモ有ラユル時機ニ於テ此主  
 張ヲ支持貫徹セント努力運動シアルハ事實ナリ

#### (二) 外交委員會決議ノ次第

外交委員會ニ於テ支那鐵道統一案ヲ議決シ歐洲會議ニ提議  
 スベク支那委員ニ打電スルニ至リタル内情ハ之ヲ断定スル

ニ由ナキモ要スルニ當時外交委員會ノ意以為ラク支那鐵道

ノ統一乃至共同管理ハ已ニ英米ノ熱心ナル希望ニシテ且世

界ノ對支投資關係上恐ラクハ四國乃至五國銀行団ト雖モ到

底之ヲ否定シカタキノ形勢ナリトスレハ支那ハ寧ロ此情勢

ヲ支那ノ有利ニ利用シ可成支那ノ主權利權ヲ失ハサル範圍

ニ於テ借款鐵道ヲ統一シ否、勢力範圍の意義ニ出ツル鐵道

ヲ回收セントスルニ在リテ其勢力範圍打破ノ衝ハ專ラ日本

方面ニ集中セラレ是偶々支那人一般ノ懷疑スル日本ノ野心

ヲ抑制スル方便トナリ殊ニ民國四年日支新條約ニ對スル報

復ノ姿トモナリテ是大ニ支那國民ノ快心トスル処ニシテ抑

且英米各國人ノ日本勢力ノ發展ヲ嫉視スルノ情ト相合致シ

其意義ニ於テ英米側明暗裡ノ煽動其凶ニ中リ所謂外交委員

會ヲ通過シ巴里ニ打電セラルルニ至リシモノニテ勿論進歩

黨一派カ其黨派の勢力ヲ恢復セントノ魂胆ナシトハ斷言シ

カタキモ其專ラ日本ニ對シ乃チ夷ヲ以テ夷ヲ制セントノ旧

套外交術策ニ出テタルハ疑ナシ本件内容ハ全然世上ニ暴露

セラレタル後二月二十三日林長民カ中央公園ニ於ケル國民

外交協會ノ講演會ニ於テ特ニ本件ニ関シ報告セル所ニ依レ

力範圍打破ノ辦法トシテ議決セラレタル者ハ三項ニシテ

一租借ハ公共居留地ニ改メ其軍港ハ支那ニ劃還セシムルコ

ト

一鐵道附屬地ノ廢止

一鐵道ノ統一

ニシテ其鐵道統一ニ關スル決議左ノ如シ

凡ソ外資外債ヲ以テ建造セル既成或ハ未成或ハ已ニ契約

ヲ訂シテ尚未タ起工セサル各鐵道ハ概ネ之ヲ統一ス其資

本及債務ハ合シテ一ノ總債務トシ各鐵道ヲ以テ共同ノ抵

当品トシ支那政府ヨリ外國專門家ヲ延用シ支那人員ヲ輔

助シテ之ヲ經理シ支那カ該總債務還濟ノ日ニ至リ止ム各

鐵道ノ行政及運輸事宜ハ仍チ須ク支那ノ法律ヲ遵守シ概

ネ交通部ヨリ之ヲ指揮ス

トアリテ右ハ一月八日ヲ以テ國務院名義ニテ巴里ナル支那

委員ニ打電セラレタリ而シテ右ニ關シ外交委員會ノ大總統

ニ對シ試ミラレタル説明ノ呈文ナル者ハ以テ其用意ヲ窺知

スルニ足ルヲ以テ左ニ訳出ス

竊ニ查スルニ本年一月二十日外交委員會ハ曾テ大總統ノ

裁可ヲ蒙リ巴里委員ニ電達シタル歐洲會議ニ提議スベキ

鐵道統一ノ一端ニ関シ其主旨ノ在ル所利害ノ関スル処我大總統ニ縷陳セントス查スルニ我國鐵道ハ大抵外資ニ成ルト雖モ其中三大別アリ一ニ曰ク借款鐵道、二ニ曰ク合辦鐵道、三ニ曰ク他有鐵道ナリ借款鐵道ニ三小別アリ曰ク單純借款鐵道二ニ曰ク混合借款鐵道三ニ曰ク附屬借款鐵道ナリ之ヲ概言スレハ則チ商業性質ト政治性質ノ二者ノミ今商業性質ノ鐵道ハ何等ノ變化ヲ生セス管理權ノ輕重ノミ土地主權ノ關係ナク後患ナキ者ナリ其變化最大ニシテ速ナル者ハ合辦鐵道ニ如クハナク俄然トシテ變シテ他有トナルナリ俄然トシテ無算ノ附屬借款鐵道ヲ發生スルナリ何ヲ以テ云フ曰ク根拠アルノ故ナリ露ノ東清鐵道南首ハ旅順ニ根拠シ独ノ山東鐵道ハ青島ニ根拠ス先ツ一不拔ノ基ニ拠ツテ後從ツテ之ヲ伸張ス故ニ名ハ合辦タリト雖モ瞬息ニシテ之ヲ佔有ス英ハ九龍ニ根拠セントシテ広九鐵道ヲ建造ス然モ合辦鐵道ト為サズシテ借款鐵道ト為ス故ニ久シウシテ未タ他有ト為ラス仏ハ広州灣ニ根拠シテ一鐵道ヲ築造セント欲スルモ其根拠ノ單弱ナルヲ以テ線路定マラス故ニ久シウシテ未タ成ラス此數者其變遷ノ形勢悉ク其最初ノ設心ヲ以テ衡ト為ス幸ニ其國我ヲ距

ル遠ク其用心紛ル故ニ其伸張難クシテ且人得テ之ヲ奪フノミ然リ之ニ由ツテ戰禍ヲ發生ス日露ノ役英日独ノ役世人豈之ヲ忘レンヤ其附屬借款鐵道ニシテ變シテ混合借款鐵道ト為ル者ハ則チ天津浦ノ一線アリ独ハ濟南ヨリ權力ヲ伸張シ北ノ方天津ニ達シ南ノ方浦口ニ達セントシ英國ノ力爭ニ因ツテ遂ニ南北分段ト成リ混合性アリ於是独ノ謀遂ニ破ル独ノ謀ル所ノ逞シウシガタキヲ知ルヤ特ニ津浦ニ注意セサルノミナラス並ニ索ムル所ノ高徐順濟ノ兩線モ亦之ヲ棄ツ之レ往事ナリ今ヤ東三省ノ東清南段名ヲ更メテ南滿トナル名ハ主義ヨリ其名ヲ定ム主人ノ義斯ニ確ニ、旅順ノ名ヲ改メテ関東ト云フ安東青島ノ衢巷ヲ編シテ之ヲ町ト云フ他ナシ此物此志ノミ奉天ニ就イテ曰ハンカ其伸張スル所ノ者新奉アリ吉長アリ安奉アリ四鄭アリ鄭洮アリ開海アリ吉会アリ長洮アリ洮熱アリ錦洮アリ其根拠ハ則チ独リ旅順一偶ノミナラス安奉吉会皆朝鮮ト相連リ錦洮ハ又一口岸ヲ得其根拠至ツテ固キナリ山東ニ就イテ言ハンカ其伸張スル所ノ者高徐アリ濟順アリ其根拠ヲ論セハ一青島ノミ然レハ則チ北ハ熱河ニ至リ南ハ順德ニ至リ燕京首都已ニ物ノ鉗ニ在ルカ如ク其以テ我ノ背ヲ

撫シ我ノ吭ヲ扼スルニ足ルハ已ニ智者ヲ待タズシテ之ヲ弁セン況ンヤ順德已ニ京漢ト相接シ熱河ハ京張ト相通スヘク席捲ノ勢已ニ成リ抵抗期シカタシ此人心アル者ノ痛哭流涕長太息スル所ノ者ナリ故ニ汪大燮等以為ラク借款鐵道ハ合辦鐵道ト為ルベキモ他有鐵道トハ為ルヘカラス單純借款ハ混合借款トナルベキモ附屬借款トハ為ルヘカラサルナリ何ヲ以テ之ヲ言フ政治性質ト商業性質ノミ根拠地有ルト根拠地ナキノミ管理權ノ輕重ニ至ツテハ固ト營業上經濟上大イニ出入アリ自ラ宜シク審慎研究シテ以テ完美ヲ臻スヘク但タ其極マル処ハ債權關係ノミ多ケレハ則チ三十年少ケレハ則チ二十年債務一タビ清ケレハ鐵道ハ則チ我ニ屬シ所謂土地主權ノ關係ナク後患ナキ者ナリ若シ因循シテ改メサレハ存スル政治性質ノ鐵道ハ窃ニ恐ル十年ニ及ハスシテ其勢力ノ至ル所吾國即チ之ニ随フテ去ラン此度外交委員會ノ提案ハ大總統ノ採択ヲ蒙ムル者共ニ五ヶ条其第一条ハ実ニ勢力範圍打破ヲ以テ綱ト為シ而シテ鐵道及租借地ノ兩者ヲ以テ重ンズト為ス若シ夫レ此ヲ去リ彼ヲ存セハ則チ全条尽ク具文ニ屬ス現ニ我カ全權委員報告ニヨレハ國際聯盟草案第二十二条内ニ締約

各國議定シテ本盟約ト抵触スル義務ヲ取消スコトヲ承認ストノ語アリ是レ人ニ在ツテ既ニ我ニ与フルニ死ヲ出テ生ニ入ルノ機ヲ以テスルモノ我ニ在ツテ即チ当ニ堅固不揺ノ志アルベキナリ之ヲ總フルニ本会提議ノ主旨ハ政治性質ノ鐵道ヲ改變シテ商業性質ノ鐵道ト為シ一國單獨壟斷ノ政策ヲ改變シテ本國完全ノ基礎ト為サントスルモノ能ク改ムレハ則チ存シ改メサレハ則チ亡フ敢テ利害ヲ陳シ附図ヲ添ヘ上陳シ恭シク明訓ヲ請フ云々

外交委員會ハ尚別ニ呈文ヲ大總統ニ上リ勢力範圍ノ打破セサルヘカラサル所以租借地ヲ根拠トスル所謂政治的鐵道ノ永久ノ禍根タル所以ヲ指摘シテ極論詳説シタル後本件ノ成不成ハ一ニ國際聯盟ノ成不成ニ見ルベク國際聯盟ニシテ成立セハ本件ノ成効ハ疑ナシト断言シ統一ノ方法ニ至レハ益ヲ取り損ヲ防クヘク自ラ當ニ詳細ニ斟酌スヘク弁法ナキニ非ス仮リニ幾分不満足ノ点アリトスルモ肌膚ノ疾ニシテ腹心ノ患ニ非ズ若シ弁法ノ故ニ其ノ根本ノ大計ヲ完全ニ推翻ストセハ是レ本末ヲ顛倒スルモノ断々乎トシテ不可トスルモノナリト極言セリ

此再度ノ外交委員會呈清ハ曹汝霖以下世間反對氣運ノ漸ク

盛ナラントセルヨリ特ニ声明主張ヲ試ミタルモノニシテ兎ニ角外交委員會ノ主張ハ専ラ理想ニ基キ計策スルモノ是レ其間幾多党派の勢位の關係アリトスルモ梁啓超林長民ノ進歩系智囊策士カ東西ニ呼応シテ支那ノ為ニ策謀スルモノ而モ其専ラ日本排斥ニ注重スルノ一点ハ正ニ吾人ノ深厚ナル決心ヲ要スルモノニテ是レ以夷制夷の旧套觀念外交ニ外ナラサルハ吾人玆ニ重ネテ之ヲ言フ

(三)統一乃至共同管理反対ノ氣勢

外交委員會決議巴里電報ノ次第一タビ伝ヘテ交通總長曹汝霖ハ勿論其他一般ノ新旧交通系モ兎ニ角其關係ノ重要ナルニ想到シテ反対ノ声ヲ放ツニ至リタルモ林長民ガ二月二十三日國民外交協會ニ於テ演說スル所ニ依レハ曹汝霖ト雖モ勢力範圍打破説及鐵道統一ニハ賛成セル処ナリト声言シ居レルカ兎ニ角鐵道協會ハ特ニ本件ニ関シ三度集會討議シ梁士詒ノ如キハ始終三度反対ノ意見ヲ表示シ居レル為自然本件ノ内情一切カ世上ニ露布セラルルニ至リタル次第ナリトス先是此種ノ重要問題カ其責任者タル交通總長ノ承認ヲ經ス否國務會議ヲ經ス單ニ外交委員會ノ決議ヲ經タルノミニテ國務院ノ名義ヲ以テ支那委員ニ打電セラルルカ如キハ頗

サルヘカラス其他ノ各路モ又普通借款ノ辦法トシ支那ハ主權ト管理權ヲ得サルヘカラス

(二)国有鐵道ハ一切外國ト關係ナク今回ノ問題外タラサルベカラス

(三)未設ノ鐵道ハ勢力範圍ノ關係ニ依リ種々ノ故障アリ為ニ交通ハ發達シ能ハサル状態ナルニ付應ニ國際聯盟會議ニ將來支那カ新ニ借款シ建造スル鐵道ハ其地域ヲ分タス支那ヨリ直接ニ一二國ニ向ヒ借款スベシ

ト云フニ在リテ其後又梁士詒カ曹汝霖トノ協議ノ結果ニ依レハ

(一)支那カ列國ノ資本團ニ加入ノ準備トシテ先ツ中国交通兩銀行ヨリ全國ノ各銀行ト聯合シテ一ノ資本團ヲ作り

(二)將來ノ鐵道建設ハ一定ノ制式下ニ交通部ト契約ヲ定メ此資本團ヨリ出資スルコトトシ又此資本團ハ外國資本團ヨリ借款スルコトトセン

ト云フニ在リテ支那ノ為ニ謀ル甚タ勝手都合ノ主張ナリ而モ鐵道協會ハ二月二十一日先ツ電報ヲ以テ巴里ノ陸徵祥等各委員ニ宛テ鐵道統一乃至共同管理ノ隱憂ヲ歷述シテ後切言シテ云フ

ル奇怪ノ出来事ナリトテ曹汝霖ヨリ猛烈ニ反対ヲ唱ヘタル為二月十八日錢國務總理ハ曹汝霖及外交委員タル汪大燮熊希齡梁士詒周自齊林長民會合ノ上曹ハ先ツ統一乃至共同管理実行ノ上ヨリ論シ(一)行政上(二)線路選取上(三)運輸計畫上(四)金融關係上(五)軍事關係上(六)用人ノ關係上(七)材料ノ購入上ヨリ支那ノ蒙ル不利ヲ指摘シテ反対ヲ唱ヘタル上更ニ外交委員會決議ノ電報ニ論及シテ其ノ凡ソ外債外資ニ依ル鐵道トアルヲ指摘シテ若シ外交委員會主旨ノ如クナラハ須ク東清南滿山東雲南ノ四鐵道ヲ外國ノ共同管理ニ委託スト云フコソ適當ナリト極言シ而モ此四鐵道モ外交條約上ノ關係アリテ到底我カ希望ノ如クナルノ困難ナルヲ主張シタル結果兎ニ角巴里支那委員ヘハ本件提議見合方ヲ電報シ其他ノ措置ハ交通當局ノ評議ニ附スベキヲ決シ散會シタル由ニテ又梁士詒カ前後三回鐵路協會ニテ発表セル意見ニ依レハ要スルニ

(一)他有ノ鐵道乃チ東清南滿山東雲南ノ如キハ分別シテ論スベシ乃チ山東鐵道ノ如キハ之ヲ見積ルトキハ約一二千万兩ニテ仮リニ独逸ハ之ヲ某一國ノ賠償金ニ引当ツルモノトセハ某一國ハ債權國トナルモ支那ハ其主權管理權ヲ得

且所謂勢力範圍打破ナル者ハ列強ニ在ッテハ均シク鼎ノ一瓣ヲ嘗メント欲スルモノ故ニ勢力範圍有リテ均沾スルヲ得サルヲ虞レ然カモ我國ハ禦侮ニ無力ナルノ故ヲ以テ向キニ均勢ニ頼ツテ以テ其利ヲ求メシニ害適々相反ル近ク我國人士ノ一部ニ此種ノ計畫ヲ利用シテ以テ主權已失ノ南滿東清雲南鐵道ヲ回收セントシ故ニ伴ツテ贊成シ彼英米人亦嘗テ此甘言ヲ為シ以テ我ヲ誘フ彼ハ他人ノ慨ヲ慨スルニ過キスシテ久シク其利ヲ有スル者果シテ能ク拱手シテ人ニ授クル者ナランヤ既ニ成功スル能ハズシテ苟モ之ニ同セハ徒ラニ國際上ノ惡感ヲ増サン外交ノ宜シキ所ニ非ザルナリ利害ノ在ル所國命之ニ隨フ危難緘黙ニ安スル能ハス和議ノ席上若シ提議スルモノアラハ務メテ乞フ痛駁拒絕以テ主權ヲ保タンコトヲ

ト次イテ又中華總工程師學會會長詹天佑モ亦巴里ニ電報シテ專ラ其支那技師工事ノ点ヨリ論シ反対ノ意ヲ表セリ三月一日陸徵祥カ鐵路協會梁士詒ニ宛テタル返電ハ左ノ如シ

二月二十一日附貴電拜誦本件ハ先キニ一月八日國務院來電ニ云々(外交委員會決議前頭ヲ掲ク)トアリシモ貴電

ニ云フ所ノ外国力支那ノ各鉄道ヲ共同管理センコトヲ願フトハ其ノ間毫モ聞ク所ナシ此度ノ大委員會中海港及水陸交通ノ一委員會アリテ専ラ二ヶ国以上ヲ經過スル各水陸交通ヲ共同管理セントノコトヲ研究スヘク迭次討論セルモ各国並ニ此種ノ論調ナシ此後何等聞ク所アレハ當ニ痛駁スベシ

トアリ國務院ニ対シテモ別ニ未タ提議セザル旨ヲ返電シタル由ナリ又本件發生後其刺激ニ依リ支那側ヨリ対外的反対ヲ表示セルハ先ニ米支一千百哩線中ノ一部トシテ杭州温州ノ一線アル処英國ハ右ハ英國ノ寧湘線乃至滬杭甬線ノ關係上其優先權ヲ侵害スルモノトシテ抗議ヲ提出シタル為其儘中絶ノ姿トナリ居タル処共同管理説アツテ前後英國ハ支那政府ニ対シ一ノ照会ヲ送リ

支那鉄道ハ此時争点既ニ多ク解決シカタシ応ニ歐洲戰爭終了後英米及關係各国ヨリ全般ノ審査ヲ為シ必ス須ク各国共同出資辦理シ以テ争執ヲ免レン云々

トアリタルヨリ曹交通總長ハ之ニ対シ切実ノ声明ヲ為スノ要アルモノトシ公文ヲ以テ英公使ニ答ヘテ反対ノ意ヲ表明セル由ニテ是レ少クトモ対外的反対ヲ表明シタルモノナリ

打破ノ好餌ヲ掲ケテ其陷穽ニ誘致セントスルノ情歴々タルモノアリ而シテ米公使ハ「ベーカー」、及「メーヤース」ノ意見ノ如キハ全然個人ノ見ニシテ公使館トハ何等關係ナシト切ニ弁解シタリトハ是亦林長民ノ言明スル所ナリ其後本件ハ關係者一再ノ研究ヲ經タル上三月八日國務院ニ一特別會議ヲ開キ此日ノ出席者梁士詒、曹汝霖、陸宗輿、汪大燮、林長民、周自齊、沈瑞麟、王寵惠出席討論四時間ニ涉リ討議ノ末

(一)政治性質ヲ含有スル借款鉄道乃チ南滿、東清、雲南、山東、吉長、安奉等ノ鉄道ハ支那政府外国資本團ヨリ総債額ヲ借入レ買取ス

(二)外債ニテ建設ノ既成鉄道乃チ京奉、滬寧、津浦鉄道等ハ暫ク提出セズ

(三)外債ヲ借入レ未タ起工セサル鉄道或ハ已ニ起工シテ未タ完成セサルノ鉄道ハ支那資本家ヨリ一ノ資本團ヲ作り外国資本家ノ加入ヲ請ヒ交通部ヨリ契約標準ヲ一定シ鉄道債務ヲ統一シ別ニ新債券ヲ發行スベシ

(四)其将来預備擴張ノ線ノ如何ニ辦法スヘキヤハ此時未決定トス

元來英米公使館側ハ直接間接本件ニ支持ニ勉メルハ明確ノ事實ニテ現ニ米国公使ハ二月二十六日特ニ梁士詒、汪大燮、曹汝霖、周自齊、熊希齡、陸宗輿、林長民ヲ晚餐ニ招請シ専ラ本件ニ談及シタル由ニテ当夜談話ノ次第ナリトテ林長民カ其ノ機関紙ニ掲載セル所ニヨレハ米国公使云フ

鉄道統一ノ後其管理運輸ノ事宜カ当然支那政府ニ歸スヘク第ダ統一ノ大借款ノ時資本家ノ安心シテ投資セシムル為支那政府カ交通部ノ下ニ外国人ノ稽查ヲ置クヘシ、用人ノ事モ先ツ支那人ヲ用ヒンモ技師及其他會計長等ハ支那人才カ一時不足ナルヘキニヨリ須ク外国人ヲ用フベク債務還済後支那人ニ引渡スベシ材料ノ購買及建設等モ公平ニ投標シ支那材料ノ使用スヘキモノハ勿論使用スヘシ鉄道収入ヲ中国ノ銀行ニ預入ルル尤モ妨ナシ惟ダ帳簿ノ整理ヲ明確ニスヘシ鉄道ノ統一ハ各国ノ資本家ノ利害ヲ共同合力セシムルモノナレハ彼是ノ境界相牽制スルノ嫌ナシ豈甚善カラズヤ云々

以テ米国公使カ本件ニ関シ如何ニ熱心ニ多大ノ感興ヲ以テ其達成ニ腐心シツツアルノ一斑ヲ徴スヘク其ノ言説ノ如キハ極力曹汝霖梁士詒等ノ反対主張ノ各節ヲ融和シ勢力範圍

此決議ノ結果ハ國務院ノ名義ヲ以テ巴里ニ打電シ其臨機応變ノ裁量ニ因リ提出スベキ旨ヲ以テシタル由ナリ而シテ梁士詒ハ右三項ニアル支那資本團ヲ成立セシムル為三月十日北京各支那銀行代表者ヲ其自宅ニ招議シ提議ノ上先ツ一千万元四分ノ一払込ノ資本團ヲ成立スヘク已ニ各銀行家ノ贊成ヲ得不日正式發表成立スルニ至ルベシト伝フ

以上ハ本件今日迄ノ成行ニシテ先ツ一段落ヲ告ケタルモノト称スヘク而モ已成ノ外債鉄道ト相触レス其未成ノモノハ支那資本團ヨリ外国資本團ヲ迎入レ交通部一定標準契約ノ下ニ統一シ其他将来ノ予備擴張線ヲ未決定トセハ英米側希望ノ統一乃至共同管理トハ相距ル遠ク問題ノ余ス所ハ所謂勢力範圍ニ根拠シ政治的性質ヲ含有スル鉄道乃チ東清、南滿、山東、雲南鉄道ニ歸着シ是等ハ何レモ俄ニ其收回ノ目的ヲ達成スルニ困難ナルヘキ事情アルハ勿論ナルモ項莊ノ意蓋シ別ニ存シ集矢一ニ日本ニ対ス國務院ハ既ニ此決議ヲ巴里ニ打電シ機ヲ相シテ提議スベキ旨ヲ以テセリト云ヘハ此支那ノ勝手ナル慾望ト米国多年ノ希望スル勢力範圍打破乃至門戸開放機會均等主義ト戰後ニ於ケル投資熱トハ支那自身ノ希望スル勢力範圍打破説ト果シテ何クノ点迄融合シ

得ルヤハ別問題トスルモ兎ニ角勢力範囲打破説ト鉄道統一説ハ何等カノ形式辦法ニ於テ巴里會議ニ提出セラルルモノト予測セラル

六二〇 三月十七日 在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

中国鉄道国際管理問題ノ起源由来及其後ノ経

過ニ付報告ノ件

第三八四号

(三月十八日接受)

貴電第三五四号ニ関シテハ前電ト重複ノ嫌アルモ其後更ニ二、三確ナリト信スベキ筋ニ就キ確メタル所ニ拠リ本問題ノ起原由来及其後ノ経過ヲ略述スレバ左ノ如シ  
本問題筋書ノ支那側ニ於ケル發頭主案者ハ梁啓超其人ニシテ同人ハ支那ニ於ケル勢力区域撤廃ハ鉄道ノ統一ニ存スト為シ其巴里ヘ出発前既ニ其同志ハ勿論英國公使トモ腹藏ナキ意見交換ヲ遂ゲ略々腹案ヲ得渡仏ノ途ニ就キタルモノニシテ(以上李盛鐸船津ニ内話)元来当地ニ於テ本問題ガ論議ニ上ルヤ梁啓超ト政見ヲ同ウスル汪大燮、林長民ハ最熱心ニ鉄道国際管理説ヲ固執主張スルニ至リタルハ予テヨリノ

筋書ヲ実行セルニ外ナラズト觀察セラル而シテ梁、汪、林等ガ斯ク熱心邁往本問題ノ主張ニ全力ヲ尽シツツアルハ真ニ国家的見地ヨリスルモノナリヤ否ヤハ別トシ彼等ガ本問題ノ達成ニ依リ比年萎微振ハザル進歩党ノ党勢ヲ挽回シ以テ政治上一方ノ活路ヲ開カントスル党略ト魂胆トアルニ帰セザルベカラズト為スモノ勢カラズ旁彼等ハ時機ノ熟スル迄秘密ニ其目的ノ進行ヲ計リ終ニ一月四、五日頃ニ至リ突然反対派ノ不意ニ乗ジ外交委員會ニ之ヲ提出シテ無事其通過ヲ計リ更ニ巧ニ大總統國務總理ヲ説得ノ上一月八日ヲ以テ講和會議ニ電報シタル処直ニ本件ニ関シ出シ抜キヲ食ヒタル曹汝霖一派ノ激烈ナル反対運動ヲ惹起シ延テ新聞紙上ニ於テ熾ナル論争ノ焦点トナリタル次第ハ既ニ数次ノ電報ニ依リ御承知ノ通ナリ尚此処ニ一言シ置キタキハ本問題ハ要スルニ交通部当局者ト外交委員會トノ衆議タルト同時ニ本問題ニ関シ反対論ガ一時ニ非常ナル勢ヲ以テ火ノ手ヲ上ゲタルハ一面歐米留学生派ノ勢力ニ一頓挫ヲ与ヘアハ善クハ一泡吹カセント試ミタル一種ノ東西留学生間ノ勢力争タルノ感無キニ非ズ(以上曹汝霖孫潤宇等ノ内話綜合)然ルニ論争ハ日ヲ経ルモ容易ニ結局ヲ見ズ自然双方睨合ノ姿トナ

リ内政上頗ル面白カラザル徴候ヲ呈セントシタルニ鑑ミ双方ノ間ニ意見ノ融和結合ヲ策スルモノアリ終ニ往電第三四五号所報ノ如ク三月八日國務院ニ於テ外交委員會及交通部当局其他ノ会合トナリ此処ニ一種ノ折衷説ヲ案出シ兎モ角之ヲ以テ各方面一致ノ意見ト見做シ適當ノ機會アラバ各方面協力シテ本案ノ全部若クハ一部ノ實現ヲ計ラントスル意向ナルガ如シ然ルニ右折衷案ナルモノニ對シテハ汪大燮林長民等ノ実務ニ当ラズ理想ニ重キヲ置ク連中ハ必ズ之ガ全部ノ實現ヲ所期シ居ルニ反シ曹汝霖其他交通ノ現職ニアルカ若クハ從來其方面ノ経験ヲ有スルモノハ本案ノ第一項

(往電第三四五号参照)即南滿東清等支那領域ニ於ケル外国鉄道ヲ此際支那ニ回收シ全然支那政府ノ管理ニ帰セシメントスルコトハ支那ノ為最モ望マシキコトニハ相違無キモ条約其他ノ關係ヨリ實際殆ド不可能トナシ寧ロ重キヲ第三項即既約未設若ハ将来敷設ノ各鉄道ハ各国協同ノ資本ニ依リ全然支那ノ管理ノ下ニ敷設經營スルノ点ニ重キヲ置ケリ是レ曹汝霖、陸宗輿、梁士詒等ガ首唱者トナリ中国鐵路銀行公司ヲ組織セル所以ニシテ本公司ハ若干ノ支那銀行ヲ以テ一ノ「シンジケート」ヲ組織シ外国資本ヲ輸入シ以テ前

記ノ鉄道敷設ヲ実行セントスル計画也ト云フ(本件ノ詳細ハ別ニ電報スベシ)本使ノ觀察スル所ニ依レバAboutハ自然将来本計画ニ参与シテ支那鉄道投資ヲ試ミントスル腹案ヲ有スルニ非ズヤト想像セラル本使ガ陸宗輿ニ確メタル所ニ依レバ支那政府ト「アボット」トノ間ニ目下何等ノ交渉無キモ英國公使ハ将来拾年間ハ英國ハ鉄道ニ投資スルノ余力無シト明言セルガ故ニ右折衷案第三項実行ノ曉ニハ結局日米ノ資本ニ倚ル外無カルベシト云ヘリ

次ニ鉄道問題ニ對スル英米両公使ノ所説ニ関シ三月拾五日陸宗輿ハ左ノ通内話セリ

鉄道問題ニ関シテハ英米公使ノ意見全然相反シ英國公使ガ過日曹汝霖陸宗輿汪大燮林長民梁士詒周自齊等ヲ晚餐ニ招待シタル節意見ノ交換ヲ行ヒ承知セル所ニ依レバ英國公使ハ盛ニ東洋ニ於ケル日本ノ危險ヲ婉曲ニ縷述シ(實際日本トハ確ニ明言セザリシモ東洋ノ独逸ノ如キ國ト云フ風ニ云ヒシ由)南滿東清等支那領域ニ於ケル外国鉄道ヲ此際支那ニ回收スル時機ハ今日ヲ措イテ復他ニ求ムベカラズ是ト同時ニ此際支那ハ外国資本ニ依リ建設シタル鉄道ハ将来外資ニ依リテ敷設セラルベキ分ト共ニ之ヲ統一スルヲ急務トス

ル旨ヲ切言シタル末英國ハ少クトモ今後拾年間ハ支那ニ對シ充分投資スルノ余力無キガ故ニ飽迄其ノ遂行ヲ期セザルベカラズト論ジ之ニ對シ曹陸等ヨリ南滿東清等支那領域ニ於ケル外國鐵道ヲ此際支那ニ回收スルヲ得バ支那ニ取り之ヨリ望マシキコトナキモ右諸鐵道ハ何レモ條約ノ結果ニ依ルモノナルガ故ニ爾ク容易ニ之ガ回收ヲ實現シ得ベシトモ考ヘラレザルニ付其實行難ノ点ヲ指摘シタル処「ジヨルダン」ハ右ニシテ実行セラレザル場合ニハ英國ハ今回ノ鐵道統一案ヲ全部不成功ニ終ラシムル外ナシト迄極言シタル由ナリ（陸宗輿ハ當日英國公使ハ日本ニ對シ外交官トシテ如何ハシキ頗ル不謹慎ナル言ヲ用ヒタリト云ヘリ）次ニ米國公使ガ前記支那側人物ニ對シ談リタル同公使ノ支那鐵道ニ對スル意見ハ頗ル英國公使ノ云フ所ト趣ヲ異ニシ同公使ハ主トシテ支那ガ外國ト契約ヲ了シタルモ未ダ布設ニ着手セザルモノ及將來外資ニ依リ敷設セラルベキ分ハ一切外國共同投資ニ依リ建設シ其管理ノ如キモ全然支那交通部ノ手ニ存シ差支ナク南滿東清等支那領域ニ於ケル外國鐵道ハ事態頗ル重大ニシテ此方ハ暫ク別問題トスル外ナシ（米國公使ハ之等ノ鐵道ハ問題外トシテ手ヲ附ケザル意味ニテ斯ク云

(十七日)

六二一 三月十八日 在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

中国ニ於テ鐵道建設資金調達ヲ目的トスル財

團組織計画進行中ノ旨報告ノ件

附記 三月十四日京津日々新聞掲載記事

第三九四号 (三月二十一日接受)

梁士詒ヲ中心トスル「シンジケート」ノ組織著々進行シツツ有ル趣ハ往電第三八四号ニモ申添ヘ置キタル処、之ヨリ曩キ純然タル支那資本家ヨリ成ル資本團組織ノ議頻リニ新聞紙上ニ伝ヘラレ数月前、梁士詒及重ナル銀行ノ各代表者会合シ、梁ヨリ興業關係、特ニ鐵道建設資金ノ調達ヲ目的トスル「シンジケート」ノ組織ノ必要ヲ唱ヘタルニ對シ曹汝霖先ヅ之ニ賛成ヲ表シ其總裁スル交通銀行ヨリ（脱）ヲ提言シ、次デ陸宗輿モ匯業銀行ヨリ百五十万弗ヲ釀出スベキヲ約（脱）ヨリモ夫々相當出資ノ申出有リ、唯ダ中国銀行ハ趣旨ニ於テハ勿論賛成ナルモ出資額等ニ関シテハ一応重役會議ニ附議シタル上ニ非ザレバ明言シ難キ旨ヲ述ベタ

ヘルカ乃至ハ別問題トシテ矢張り何等カノ方法ヲ以テ処分スル意味ニテ説明セルカ其辺明瞭ナラズ此ノ点尚内探ヲ試ムベシト述べ居ル趣ナリ（以上陸宗輿、曹汝霖ノ談ニ依ル）

之ヲ要スルニ外交部当局者ハ英國公使ノ意見ハ各種ノ關係ヲ無視シ万事英國ニ都合良キ極端ナル利己主義ニ基ク意見ナリトシテ甚シク態度ノ公明ナラザルニ反感ヲ懷クニ反シ、米國公使ノ意見頗ル穩当ナルモノトシテ鮮カラズ好感ヲ寄セツツ有ルガ如シ、因ニ二月二十一、二日頃米公使ハ本使ニ對シ支那鐵道問題ニ関シ一日悠々意見ヲ交換シタシト二回迄モ申込ミ置キ乍ラ今日迄何等ノ挨拶無シ或ハ其後順天時報ニ於テ「支那鐵道ト支那主權」ト題シ論ジタル社説ヲ直ニ日本側ノ意見ト吞込ミ其初志ヲ翻シタルニ非ズヤトモ想像セララル、尚乍序陸宗輿ハ外交委員ト英國公使ト会见ノ席上ニ於テ汪大燮、林長民ガ英米ノ勢力ニ依リ南滿東清ヲ支那ニ回收スルヲ得バ支那鐵道全体ガ國際管理ニ歸スルモ苦シカラズト陳述シタルコトヲ指摘シ其時勢ニ疎ク國家ニ不利ナル言動ヲ外國公使ノ面前ニ於テ為シタルヲ甚タ憤慨シ居レリ

ル趣ニシテ右ニテ「シンジケート」ノ組織ハ主義トシテ各銀行一致ノ同意ヲ得タル次第ナルガ爾來議円滿ニ進捗セルモノノ如ク三月十八日ノ漢字新聞ハ該「シンジケート」ヲ『大生銀行公司』ト称スルコトニ決定シタル旨ヲ報ジ、且（一）其目的ハ表面各種鐵道、鉱山、船舶、機械事業ヲ支配セントスルニ在ルモ実ハ専ラ鐵道事業ヲ本旨トシ之ニ依リテ進ンデ勢力範圍ノ撤銷ニ貢獻シ一面鐵道ノ外國協同管理案ヲ扼制セントスルニ在リ

(二)資本予定総額一千万弗

(三)専ラ国家彩票公債債券ノ仲介売買及募集ヲ業務トシ他ノ雜業ヲ管マズ又政治借款ニ干与スルコトナシ

(四)掌理書記各一名ヲ置キ別ニ監督機關トシテ重役会ヲ組織シ業務ニ當リテハ（不明）ノ署名調印ヲ要ス

(五)出納金ハ凡テ金磅ヲ以テ単位トス

等ノ諸項ヲ議定シタルガ各方面ノ承認ヲ經タル出資額既ニ通計千五十五万弗ニ上リ或ハ更ニ資本総額ヲ二千万弗ニ改正スベシトノ議アル旨報道ニ接シ居レリ尚三月十七日船津ガ周自齊ニ邂逅ノ際本件ニ言及シタル処周ハ本計画ニ参加シツツアルハ目下ノ処中国、交通、匯業、金城、新華、中

孚等ノ諸銀行ニシテ中国銀行モ交通銀行同様三百万弗出資ノコトナリ居リ愈々三月十七日ヲ以テ創立總會ヲ開催スル旨語レル趣ニシテ三月十七日曹汝霖ハ本使ニ対シ本案愈々成立ノ上ハ日本銀行團ニモ参加ヲ求ムル旨ナリト云ヘリ兎ニ角本公司ノ設立ハ鐵道統一問題ト相俟テ頗ル注目ヲ要スルモノアリ更ニ精探ノ上委曲具報ニ及ブベシ右不取敢

(附記)

三月十四日京津日々新聞掲載記事

大シンヂケート

十二日北京梁士詒氏邸ニ於テ一シンヂケート創立ノコトニ関シ會議開カレタルカ當時各銀行カ引受ケタル募集採金額ハ千五十五萬元ニ達セリ即チ來会者ハ交通銀行曹總理、匯業銀行陸總裁、中孚銀行孫總理、中国銀行(脱)總裁、張同行副總裁、該行長、王襄理、五族銀行陳總經理、匯業銀行楊經理、塩業銀行岳經理、朱副理、新華銀行賀副理、交通銀行胡經理、梁副理、大生銀行蘇總理、王協理、金城銀行周總經理、平市官錢局長陳氏、交通銀行趙秘書、北京商業銀行陳經理、中国銀行楊經理、王亮(脱)、林字孟等ノ二十余

鐵道事業資本団設立ニ関スル周自齊談話報告

ノ件

第四二七号

三月二十一日周自齊本使ヲ來訪ノ節目下計畫中ノ支那資本団ノ件ニ談及シ右資本団ハ近日中ニ法律上制規ノ手續ヲ了シ政府ノ認許ヲ得ル手筈ト成リ居ルニ付近ク本計畫ノ目的組織等ヲ詳細ニ記述セル説明書ヲ本使ノ手許ニ送ルヘク先以テ其ノ前一兩日中ニ梁士詒本使ヲ來訪シ賛成ヲ求ムル旨ナリト語レルニ付本使ハ右説明書ヲ入手シ仔細ニ研究ノ上ナラテハ何等具体的ニ意見ヲ表示スルニ苦シム次第ナルヲ述ヘ更ニ本使ノ質問ニ対シ周ハ右資本団ノ目的ハ必スシモ鐵道投資ノミニ限定セラレス広ク富源開發殖産工業ニモ投資スルニアリテ該資本団中ニハ外国殊ニ日米ノ銀行家ヲモ網羅シ公債ヲ外国市場ニ売出シ其ノ資金ニ依リ建設セラルヘキ鐵道等起スヘキ事業ヲ以テ之カ担保トスル旨並從來新旧交通系即チ曹、陸氏派ト梁、周氏派トハ鮮カラス確執反目ノ姿ナリシカ鐵道統一問題ノ論争及本資本団ノ成立ニ依リ從來ノ惡感ヲ一掃シ將來充分相提携シテ政治、実業問題ニ従事スルコトニ確實ナル諒解成立シタリ、之一面

名アリ又各銀行ノ採金募集引受高ヲ挙クレハ左ノ如シ

|        |            |
|--------|------------|
| 交通銀行   | 三、〇〇〇、〇〇〇元 |
| 金城銀行   | 一、〇〇〇、〇〇〇  |
| 匯業銀行   | 二、〇〇〇、〇〇〇  |
| 新華銀行   | 三〇〇、〇〇〇    |
| 五族銀行   | 一五〇、〇〇〇    |
| 塩業銀行   | 五〇〇、〇〇〇    |
| 中国銀行   | 三、〇〇〇、〇〇〇  |
| 大生銀行   | 三〇〇、〇〇〇    |
| 北京商業銀行 | 一五〇、〇〇〇    |
| 中孚銀行   | 一五〇、〇〇〇    |
| 合計     | 一〇、五五〇、〇〇〇 |

尚此外ニ數銀行アルモ總經理不在ノ為メ引受高定マラサリシカ此事ハ關係スル所重大ナルモ未タ内容発表スル能ハスサレト鐵道管理問題ト關聯シ居ルハ事実ナルモノノ如ク同銀行成立スルニ至レハ必ス國際管理鐵道問題ニ一大影響ヲ与フヘシト

六二二 三月二十一日

在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

ヨリ見レハ支那ニ於ケル日米兩派ノ提携トモ目スヘク右ニシテ新資本団力成ルヘク多クノ資本ヲ日米兩國ヨリ仰カント欲スル期待ノ存スル所ナリト述ヘタリ

六二三 三月二十七日

在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

中国鐵道國際管理問題ニ対スル英國ノ態度ニ

関シ陸宗輿内話追報ノ件

第四五九号

往電第三八四号鐵道管理問題ニ関シ陸宗輿ノ内話中左記ノ一節アリタルモ是レ陸宗輿一己ノ意見ニ過キザルノミナラス何人モ本問題ニ対スル英國公使ノ態度言説ヲ玩味スレバ容易ニ同様ノ結論ニ達シ得ヘキコトト考ヘ態ト報告差控ヘタルモ其後何等御参考迄矢張貴聞ニ達シ置ク方然ルベシト思考シ茲ニ追報ス、要スルニ陸ハ英國ガ支那ノ鐵道全部ヲ挙ケテ國際管理ニ委ヌルヲ絶対ニ必要トスル理由ト動機ニ関シ左ノ通り論結セル次第ナリ

從來英國ハ長江沿岸ヲ以テ其勢力区域トシ鐵道其他苟モ外勢ノ進入シテ英國勢力ノ消長ニ影響スルガ如キモノハ極力

之ヲ排斥シ以テ今日ニ至レルハ世間周知ノ事実ノ如シ然ルニ今回ノ歐洲戦争ニ要シタル其莫大ナル戦費ノ整理ハ容易ナラザル一大事業ニシテ対支鉄道投資等巨額ノ海外放資ニ不如意ヲ感スベキハ素ヨリ当然ニシテ現ニ英国公使ガ今後十年間ハ英国ニ於テ支那鉄道ニ投資スルノ余裕無シト赤裸々ニ明言セルニ照ラスモ一点疑ヲ容レサル所ナリ

然ルニ一方支那ノ開発ニ伴フ鉄道ノ布設ハ一日モ忽ニスベカラザルヲ以テ長江流域ノ鉄道ノ如キモ英国資本ニ依リ布設不可能ノ場合ニハ自然他国ノ資本ニ依ラザル可カラザルハ大勢ノ赴ク処已ムヲ得ザルノ数ナリ從ツテ英国ニシテ万一此大勢ヲ有利ニ利導セズンバ結局日本其他ノ鉄道勢力圈ノミ依然トシテ存続ヲ見ナガラ英国ノ勢力圈ノ如キハ他国ノ資本ニ依リ最モ余計ニ蹂躪セラルルニ至ルコトモ亦必然ノ勢ナリ之レ英国ガ将来ノ趨勢ヲ洞察シ自国ノ利害ヲ打算シ敢然起ツテ本問題ニ強固ナル支持ヲ与ヘ、一方東清、南滿、雲南、山東諸鉄道ノ回收ヲ得テ問題ノ遂行ヲ容易ニスルト同時ニ一方国際管理ノ大傘下ニ鉄道統一ヲ実行シ英国關係ノ鉄道ノ長大ナルヲ口実ニ管理權ニ重要ノ地位ヲ占メントスル深謀ヲ藏スル熟慮ヲ重ネタル計画ニ外ナラズ

## 「ローズ」ノ談話報告ノ件

## 第四七五号

(三月二十八日接受)

三月二十六日「ローズ」徳川ヲ来訪シ今日ハ何等公用アルニアラス久振リニテ雑談ヲ交ヘニ来レリト前置シ(不明)先方ヨリ鉄道国際管理問題ニ談及シ日本側ノ意嚮ニ付何カ報道ナキヤト尋ネ徳川カ何等の確ナル報道ニ接シ居ラス政府トシテモ本件ニ関シ the consideration ヲ加ヘ居ルコトトハ思考スルモ其意嚮ニ付テハ何レヨリモ何等聞ク所ナシト答ヘタルニ対シ「ローズ」ハ徳川ノ私見ヲ求メタルニ付徳川ハ態ト明答ヲ避ケ支那及列国ノ渾然タル經濟的利害ノミヨリ見タル本件提案ノ根本主義ハ何人ト雖モ強ヒテ異存ナキ所ト信ストテ從來ニ於ケル列国利権爭奪ノ不可ヲ説キ而モ之カ実行ニ際シテハ列国各自大ニ考慮ヲ要スルモノアルヘシトノミ答ヘ置キタル処「ローズ」ハ英国トシテモ少クトモ当分ハ現状ヲ維持シ行クトモ何等差支ナク又本国ニアリテ既得利権ニ依リ利益ヲ得居ル資本主ノ如キハ本件提案遂行ノ曉ハ腹ヲ立ツルヤモ知レサルモ自分ハ大局ヨリ早晚之カ実現ヲ見ルコト支那及列国ノ為最モ利益ナリト確信シツツアリト頗ル熱心ニ語リタルニ付徳川ハ支那側最近ノ意

本計画ハ頗ル巧妙ニシテ英国ニ取りテハ他人ノ禪ヲ以テ相撲ヲ取ルト一般甚ダ虫ノ好キ話ナルモ利害關係ノ密接ナル各国ハ果シテ斯ク容易ニ之ニ同意スベキヤ否ヤ又支那トシテモ東清以下四鉄道回收ガ条約關係等ニ因リ其ノ実現ノ困難ヲ感スル際斯カル好餌ノ下ニ迂闊ト之ニ乘リ国際管理ノ如キ重大ナル主權ノ羈絆ヲ受クルニ至ルハ国務ノタメ忍ビ難キ所ニシテ此際国務ノ前途ニ容易ナラザル不幸ヲ醸スガ如キ事ナキ様最慎重ナル考量ヲ尽スヲ要スル次第ナリ云々因ニ本問題ガ重大ニシテ然モ帝國ノ将来ニモ頗ル緊要密接ノ關係アルニ鑑ミ帝國政府内意ヲ承知セズ本使ニ於テ輕々シク意見ヲ表白スルハ徒ニ外間ニ對シ揣摩臆測ヲ逞フスルノ機會ヲ作ルニ過ギザルヲ以テ先方ヨリ進ンデ話アラザル限り本使ハ關係国使臣トモ意見ノ交換ヲ差控ヘ居レリ本件ニ付英米兩國公使ノ態度ハ前電ニテ略々御承知ノ事ト信ズル処最近白耳義公使ノ洩シタル所ニ拠レバ同公使及仏国公使ハ本件ニ反対ノ意嚮ヲ有スルモノト察セラル

六二四 三月二十七日

在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

中国鉄道国際管理問題ニ関スル英国公使館員

嚮ヲ如何ニ觀察スルヤ又過日英国公使カ梁士詒其他鉄道問題ニ關係アル人々ヲ招待シ談話ヲ交換セラレタルヤノ新聞記事アル処当夜ノ状況如何ナリシヤト推問シタル処「ローズ」ハ梁士詒等ノ反対ハ要スルニ自己中心主義ニ過ギザルガ近時大イニ了解シ来レルモノノ如シ又質問ノ招待ノ席上ニハ自分モ列席シタルガ公使ハ余ハ支那鉄道ノ現状ニモ頗ル不満足ニテ現状ノ儘ニテハ濫リニ投資スベカラザル旨自国人ニ注意シ居ル様ノ次第ナリトテ国際管理案(支那全国鉄道ニ対スル)ノ遂行ガ此状態ヲ根本的ニ改善スベキコトヲ信ジ本国政府ヘモ電稟シ居ル旨ヲ述ベ其必要ヲ力説シタルニ梁士詒等ハ然ラバ南滿東支其他ノ外国鉄道回收ニ関シ英国側ノ援助ヲ期待シ得ベキヤト述べ公使ハ夫ハ支那側ト各關係国側トノ交渉ニ依ルベキモノニシテ第三国ノ関与スベキコトニアラズト答ヘ然ラバ米國ハ如何ナル意嚮ナランカトノ問ヒニ對シ公使ハ米國トテモ同様ナラント答ヘタリト語リタル趣ナリ右「ローズ」ノ談話末段ハ前電曹汝霖陸宗輿等ヨリ聞知セル所ト大分相違シ居リ曹、陸ノ談話トテモ那辺迄駁引無キ真摯ノ報道ナルヤハ固ヨリ即斷シ難キト同時ニ「ローズ」ハ大分修飾シテ話シタルニアラザルカト

思ハレ就中梁士詒等ハ英米等ニ依リ結局ハ全国鉄道国際管理ヲ希望シ居ルモノナルガ故ニ日本ガ彼等ノ外国鉄道除外説ヲ頼ミニ思ヒテモ實際ハ然ル訳ニハ行カズ大勢ハ日本ノ反対ヲ容ルル余地無シト云フ如キ印象ヲ我ニ与ヘントノ底意アリシニハアラズヤト疑ハレザルニモアラズ兎ニ角以上ハ英国公使館員ノ談話ニ付御参考迄ニ電報ス

六二五 五月二十一日 在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛

中国鉄道国際管理説再燃ニ関シ報告ノ件

機密第二二三号 (五月二十八日接受)

大正八年五月二十一日

在支那

特命全權公使 小幡酉吉 (印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

先般一時内外ノ耳目ヲ聳動シタル支那鉄道統一乃至国際共同管理説ハ各方面ノ反対ニヨリ一時消滅ノ姿ニ歸セシモ本問題ノ主張ト理由ニハ兎ニ角牢乎タル根拠アリ何等カノ形式ニ於テ必ス再燃スベク從ツテ本問題ニ対スル帝國政府ノ

御方針予メ研究御垂示アリタキ旨一再電稟報告ノ通りナル処五月二十日ノ旧交通系機関紙タル公言報民視報其他ハ巴里ノ通信ナリトテ中英公司即チ「ブリチッシュ、アンド、チャイナ、コルポレーション」ガ巴里ノ平和會議ニ向ヒ秘密ニ支那鉄道国際共同管理案ヲ提議シタル旨ヲ伝ヘ其内容ヲ暴露致居候乃チ中英公司ノ提議ナル者ハ苟モ英米兩國ノ協助ヲ得テ日本露国仏国ト商議セハ必ス実行シ得ベク而モ之レ支那要路ノ同意ヲ得タルモノナルヲ前提トシテ共同管理ニ関スル八項ノ要領ヲ掲ケタルモノニテ殆ド既報「メーヤース」ノ立案ト同一ノモノニ有之候

然ルニ今五月二十一日ノ民視報其他ハ四月二十六日附ヲ以テ葉恭綽王景春ノ兩名カ巴里ヨリ外交部ニ宛テ國務院外交委員會交通部鐵路協會ニ伝達ヲ乞ヒタル電報ヲ披露致シ居リ此電報既報ノ如ク葉一派ノ日本通過ノ際政府ニ建議シタルモノト略々同様支那鉄道ハ急ニ統一セサルヘカラサルノ要アリ而モ外国側ノ意嚮ニシテ已ニ右ノ如シトセハ此際支那ハ進ンデ之ヲ利用シ勢力範圍ヲ打破シ各鉄道ヲ統一スベシトハ殆ト是レ外交委員會ト同一口吻ニテ而モ其辦法トシテ挙ケタル十二項ニ徴セハ梁士詒一派ノ主張ヲ敷衍支持ス

六二六 五月二十六日 在中国小幡公使ヨリ  
内田外務大臣宛

中国鉄道国際管理説再燃ニ関シ続報ノ件

公第二〇七号 (五月三十一日接受)

大正八年五月二十六日

在支那

特命全權公使 小幡酉吉 (印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

本件ニ関シテハ不取敢機密第二二三号ヲ以テ及報告置候通リ中英公司カ秘密ニ其説明書ヲ提出シタル内容ハ陸徵祥ヨリ電報アリタル次第ノ由ニテ右ニ対シ支那政府ヨリハ國務院外交部交通部ノ名義ヲ以テ陸徵祥ニ対シ左ノ如キ返電ヲ為シタル由ニ候事巴里ニ於ケル新借款ノ前途我方ノ体度決定上ニ大ニ參考トスベキ点有之ニ付茲ニ全訳致候

鉄道統一問題ハ端ヲ一二外国人カ税関ノ総稅務司塩務稽核所会辦カ以テ実權ヲ握リ厚祿ヲ受クルヲ歎美シ此種ノ組織ヲ鉄道方面ニ擬シニ野心ヲ逞ウセント乃チ南滿、東清、雲南、山東鉄道回收ノ説ヲ以テ我國中三五無責任ノ政府反対者ニ餌ス此輩ハ内容ヲ察セス且其意交通ノ

モノニテ到底「メーヤース」案トハ相容レカタキモ兎ニ角外交委員會「メーヤース」側梁士詒側主張ヲ斟酌主張スル所ヨリ察セハ其間自ラ機微ノ存スルモノ可有之五月二十一日ノ民視報ノ如キハ特ニ「異哉中英公司欧会説帖之提出」ト題スル論文ヲ掲ケ所謂統一論者ヲ売国ト罵リ国家ノ將ニ亡ヒントスルヤ必ス妖孽アリ此輩狼子野心ハ殆ト所謂妖孽ナリト痛罵シ更ニ「外人我全国鉄道ヲ奪フノ陰謀ノ素隠」ト題スル記事下ニ統一論者ハ先ツ第一ノ方法トシテ統一論ヲ提唱シ輿論ノ反対ニヨリ失敗スルヤ今ヤ第二ノ方法トシテ中英公司ヲシテ此提議ヲ為サシメタルモノナリト云ヒ若シ此提議ニシテ再ヒ不成功ナランカ必スヤ第三ノ方法トシテ列国側ヨリ鉄道借款期限前還附ヲ要求セシメ支那ヲシテ余儀ナク其統一乃至共同管理ヲ承諾セシムル計画ノ毒惡手段ニ出ツルナルベシトテ深ク憤慨致居候

兎ニ角英米側ノ支那鉄道共同管理説ハ支那一部ノ統一論ト相關連シテ相当根拠理由アル主張ニ有之ハ再三電報報告ノ通りニ付我方ニ於テモ予メ之ニ対スル体度方針ヲ研究シ置クコト極メテ必要ト存シ候此段不取敢報告申進候也

実権ヲ各国ノ平均支配ニ聴シテ以テ勢力範圍ヲ打破スルヲ冀フト云フ後各方面ノ研究ニ愈ナ謂フ南滿東清ノ各鉄道ハ軍事作用ヲ含有シ政府ハ固ヨリ法ヲ設ケテ回収センコトヲ願フモ惟ダ凡テノ鉄道ヲ各国ノ平均支配ニ帰シテ以テ各国ノ勢力範圍打破ヲ冀フモ深ク恐ル勢力範圍未タ除カズシテ我國ノ鉄道行政ノ主権ハ先ヅ已ニ傍ニ落チン故ニ多数ハ極端ノ反対ヲ持ス即チ此ノ無責任ノ政府反对者ハ外人ノ蠱毒ヲ受ケ統一借款ノ説ヲ主張スト雖モ然モ亦敢テ共同管理ヲ主張シ主権ヲ他人ニ移ストハ言ハサルモ但タ二者ハ相因テ至ルノ勢アリ鉄道債務統一ハ即チ共同管理ノ先導ノミ前ニ此鉄道借款ニ因リ外人ハ尚多方把持ス今若シ如此大債權ヲ擁護スルヲ准許セハ自ラ必ス管理ノ全權ヲ伸シテ苟モ手ヲ放ササラン中英公司ノ所謂外国利益關係人ヲ満足セシムル是也且僅ニ借債統一ヲ以テ言フモ亦百害アツテ一利ナシ旧債ノ繰上還附ハ既ニ額外ノ補償ヲ要シ重ネテ新債ヲ募レハ復タ部引アリ一出一入無形ノ損失ナリ現在ノ為替相場ヲ以テセハ約九千余万元ノ鉅ニ達シテ此ノ種損失ノ利息ハ尚此外ナリ故ニ此弁法ニ依ルトセハ路債ヲ増加セシメテ財力ハ弥々蹙ル況ンヤ

以テ路權ヲ攘フ実ニ文明国人ノ然ルベキ処ニ非ザルナリ希クハ此意ヲ表示シ且国人ノ此論ニ反对スルハ此論ニ附和スルモノト啻ニ千万ト一ノ比例ノミニアラサルナリ兎ニ角支那政府当今当局者ノ本問題ニ対スル決意ト主張ノ存スル処ヲ見ルベキモノ有之候  
右及報告候也

総借セハ必ス須ク総還スヘク縦シ万分ノ一ヲ剩スモ亦我管理ノ自由ヲ恢復スル能ハス加フルニ我國幅員ハ遼闊ニシテ線路ノ延長ハ已ムナシトセハ即チ債額ノ増加ハ已ムナク所謂若干年ニシテ債務ヲ清償ストハ純ニ欺人ノ語ノミ此等ノ謬説ハ久シク識者ノ唾棄スル処ニシテ該公司ノ説明書中一ニハ則チ曰フ中国人ハ擬ス將ニ云々ト再スレハ則チ曰フ中国人並ニ願フ云々ト是以上三五人ノ私見ニシテ我全国人民ヲ概括ストセハ誣熾實ニ甚タシ該公司擬スル所ノ董事会ノ弁法ニ至レハ我國ノ交通總長次長モ僅ニ彼ノ英米仏日ノ一代表ニ当ルニ足ルノミ尚何ノ行政主權ノ言フベキ是レ忍ブベクンバ孰レカ忍フベカラサラン一切ノ運賃、金融、人材、材料ノ諸問題彼ノ利ニシテ我ノ害ニ非ザルナク国家命脈將ニ之ニ随ツテ以テ亡ビ人民ノ生路亦之ニ随ツテ以テ絶エン外人自策ノ各鉄道ヲ回收シテ以テ各国ノ猜忌ヲ泯シ東亞ノ平和ヲ保ツコトニ至レハ但タニ吾人久シク此心願アルノミナラス即チ各国果シテ能ク開誠相見ハ亦必ニ我政府ヲ助ケテ他鉄道借款ノ成案ニ依リ借款契約ヲ訂立シ逐一回収シテ我國有ニ帰セハ方ニ邦交輯睦ヲ表スルモノト云フベク若シ美名ヲ假ツテ

## 日本外交文書 大正八年 第二冊 上卷 終